

(単位：mm)

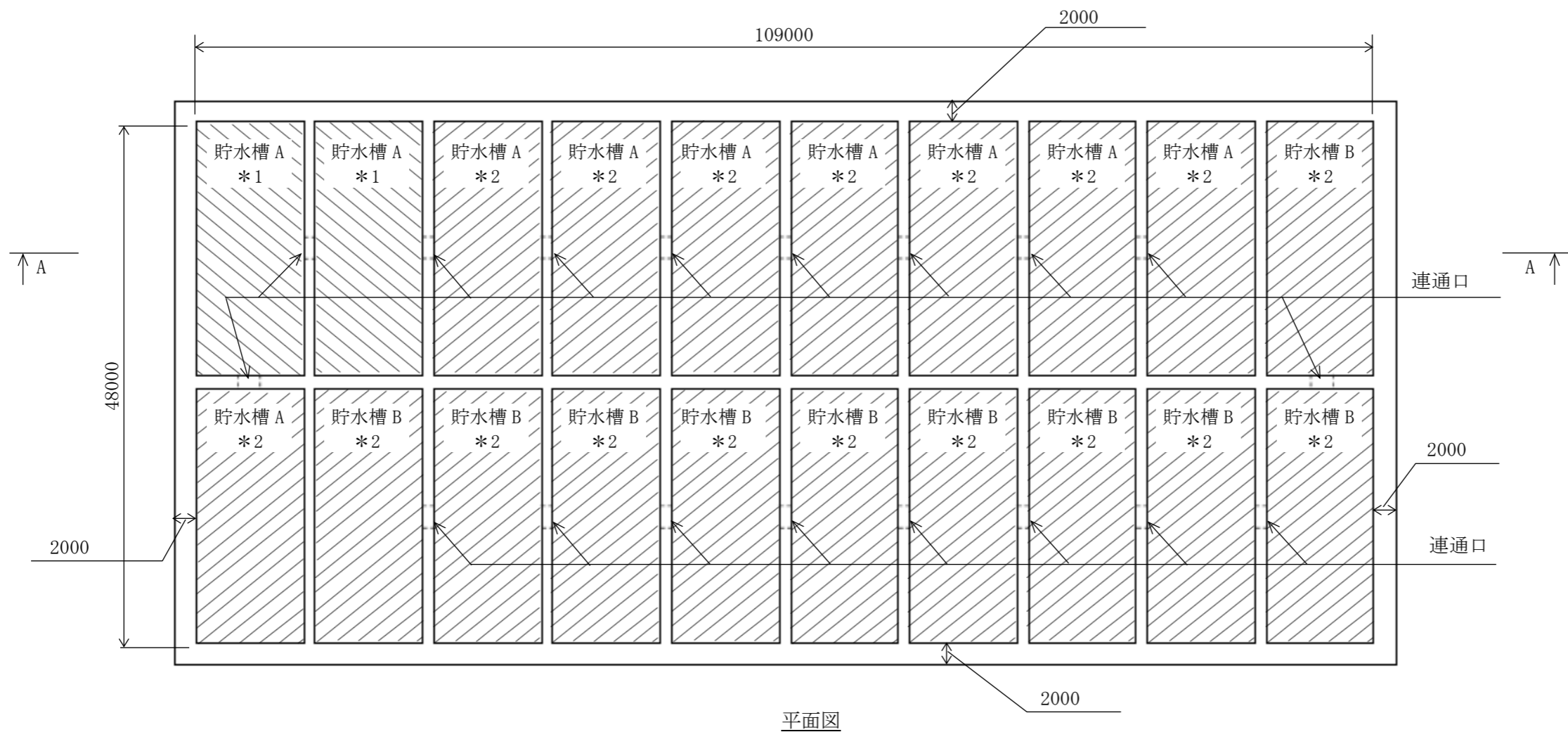
第 2.5.7.3.7.1-6 図
可搬型放水砲の構造図(その 2)

第2.5.7.3.7.1-6図 可搬型放水砲の構造図(その2) 別紙

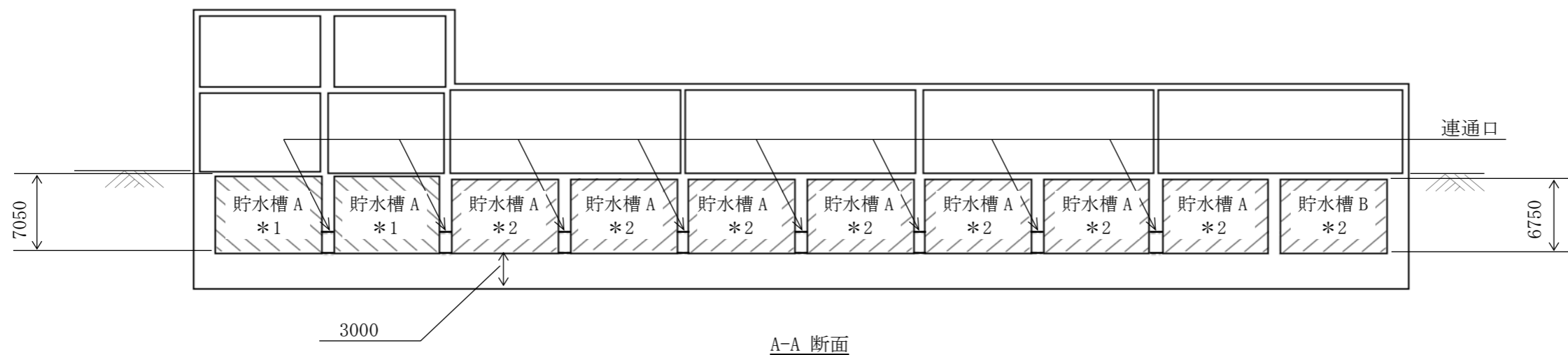
公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法* (mm)	許容範囲	根拠	
外径	318.5	±1%	JIS G 3459による材料公差
	216.3		
	220	■	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	10.3	±10%	JIS G 3459による材料公差
	8.2		

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請記載の公称値を示す。



平面図



A-A 断面

*1 : 7050 mmの深さを示す。
 *2 : 6750 mmの深さを示す。

(単位 : mm)

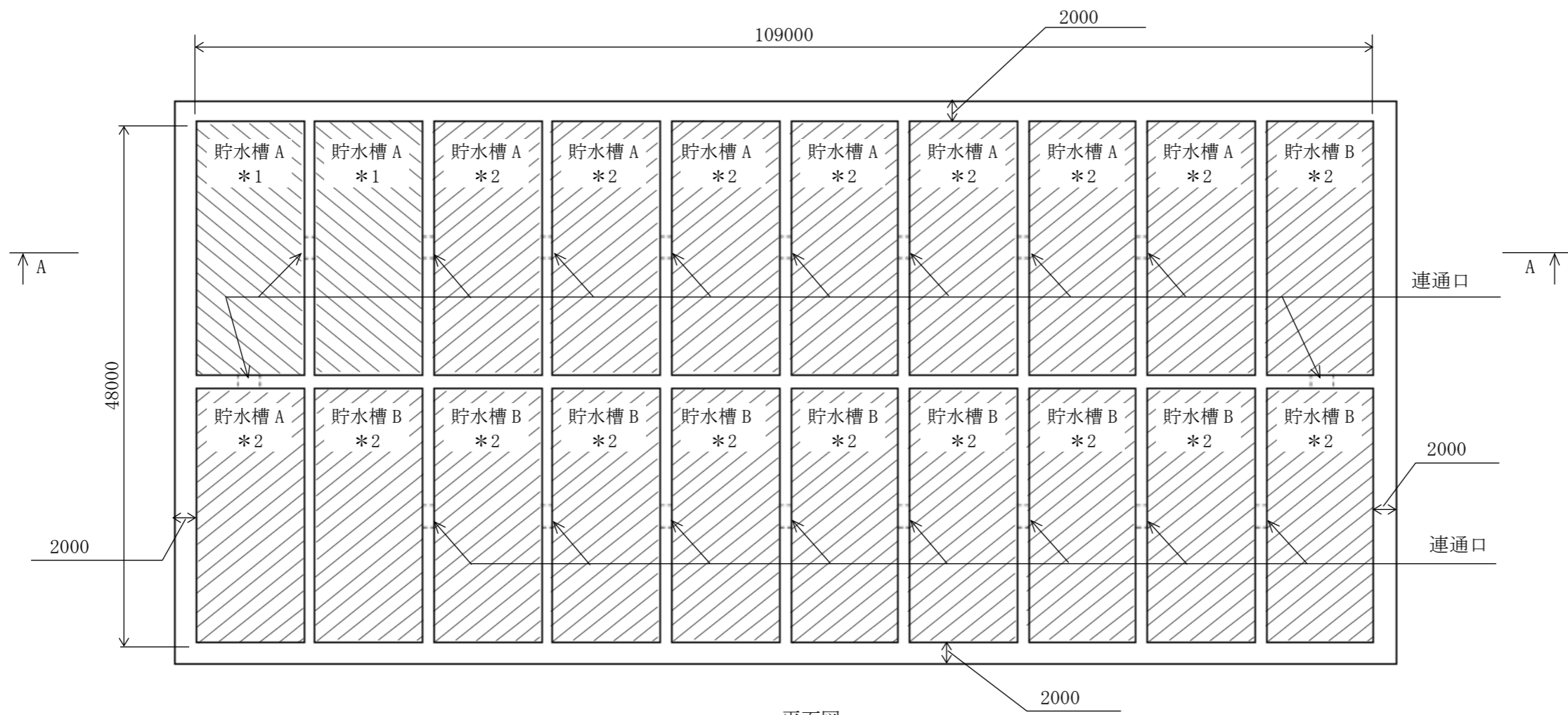
第 2.5.7.3.8-1 図
 第 1 貯水槽 (9913-V-11, V12) の構造図

第2.5.7.3.8-1図 第1貯水槽(9913-V-11, V12)の構造図 別紙

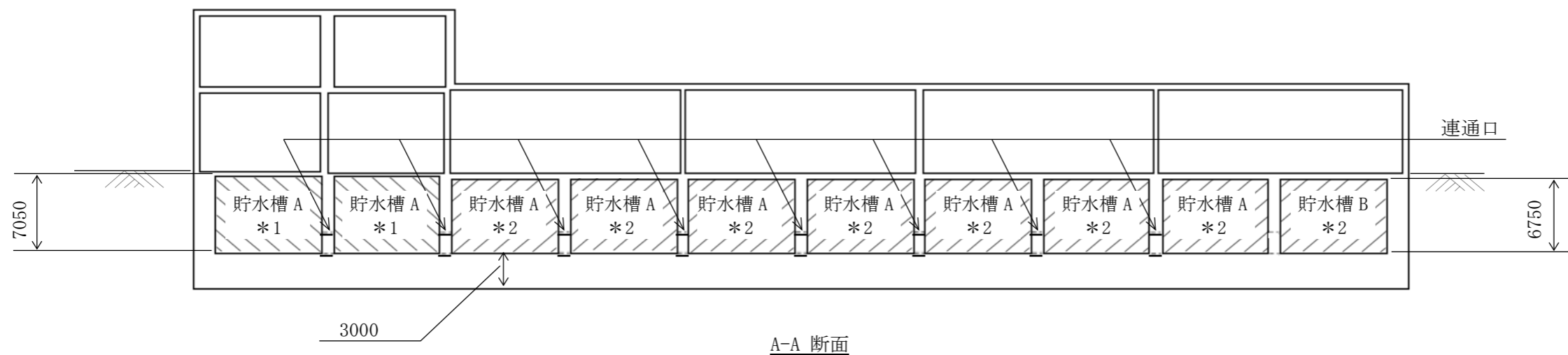
公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法* (mm)		許容範囲	根拠
たて	48000	±20mm	建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5N
横	109000	±20mm	建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5N
深さ	6750 7050	±30mm	建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5N
壁厚さ	2000	+15mm - 5mm	建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5N
床厚さ	3000	+15mm - 5mm	建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5N

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請記載の公称値を示す。



平面図



A-A 断面

*1 : 7050 mmの深さを示す。
 *2 : 6750 mmの深さを示す。

(単位 : mm)

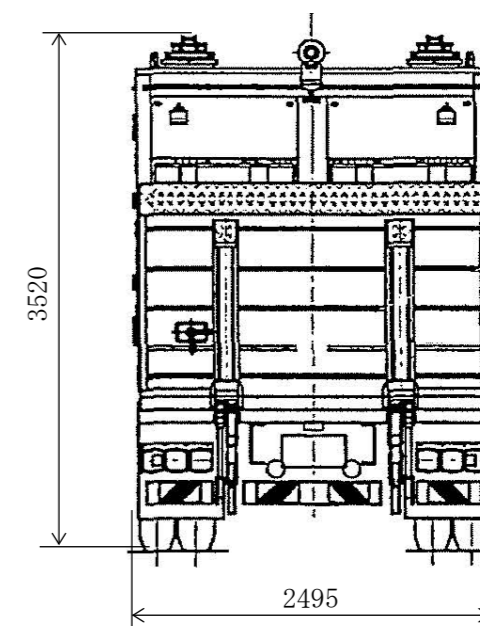
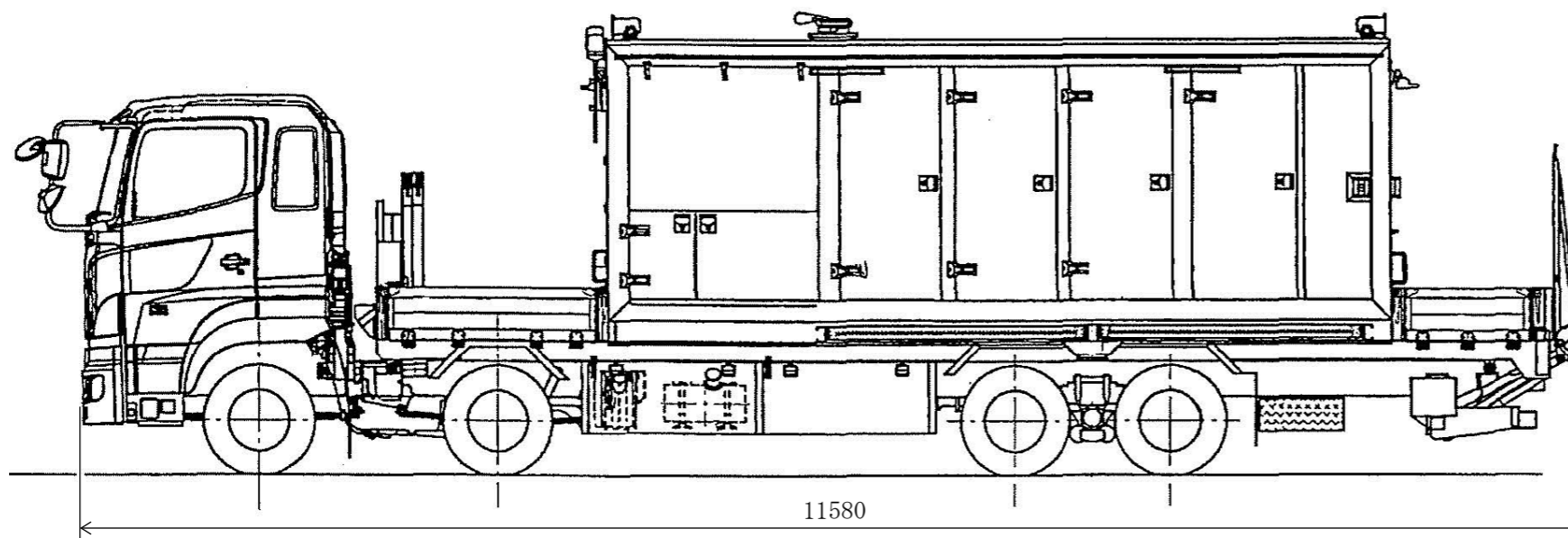
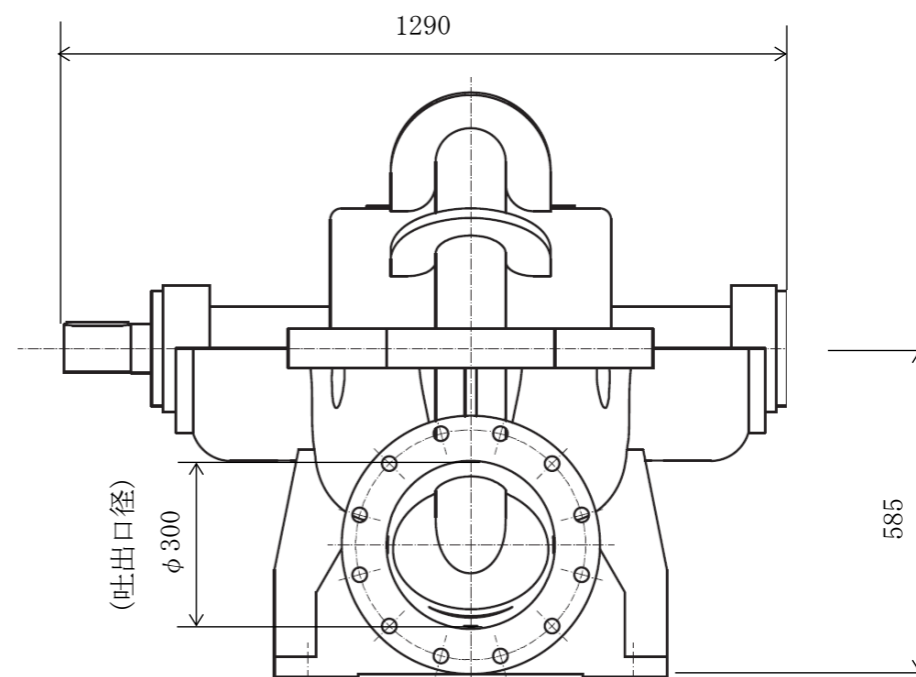
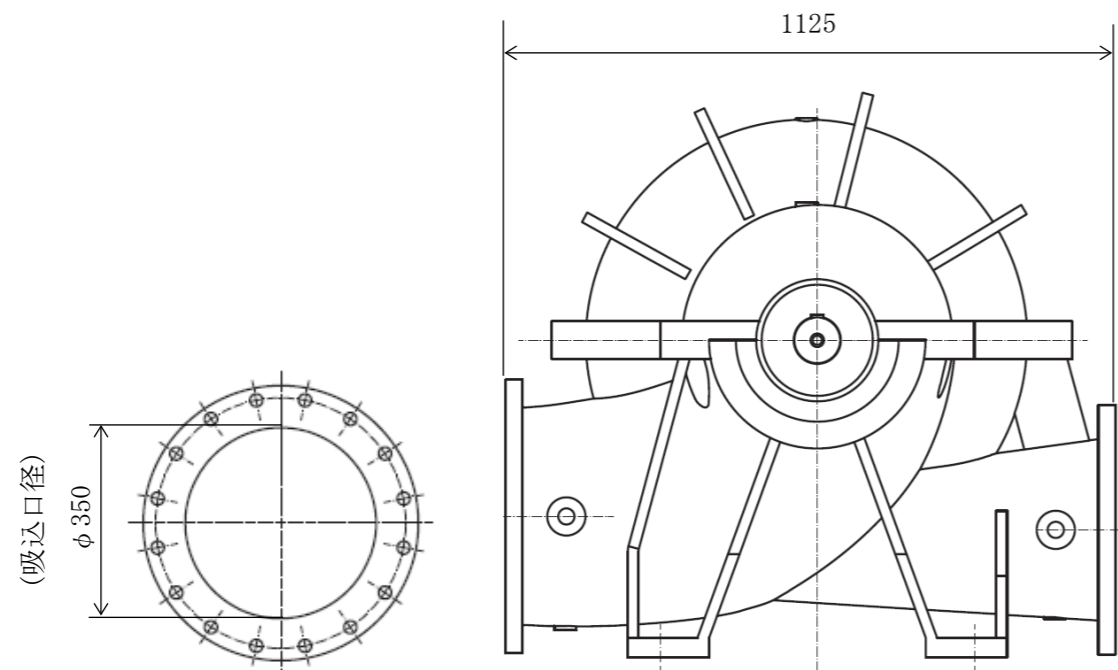
第 2.5.7.3.8-2 図
 第 2 貯水槽 (9914-V-11, V12) の構造図

第2.5.7.3.8-2図 第2貯水槽(9914-V-11, V12)の構造図 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法* (mm)		許容範囲	根拠
たて	48000	±20mm	建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5N
横	109000	±20mm	建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5N
深さ	6750 7050	±30mm	建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5N
壁厚さ	2000	+15mm - 5mm	建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5N
床厚さ	3000	+15mm - 5mm	建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5N

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請記載の公称値を示す。



(単位：mm)

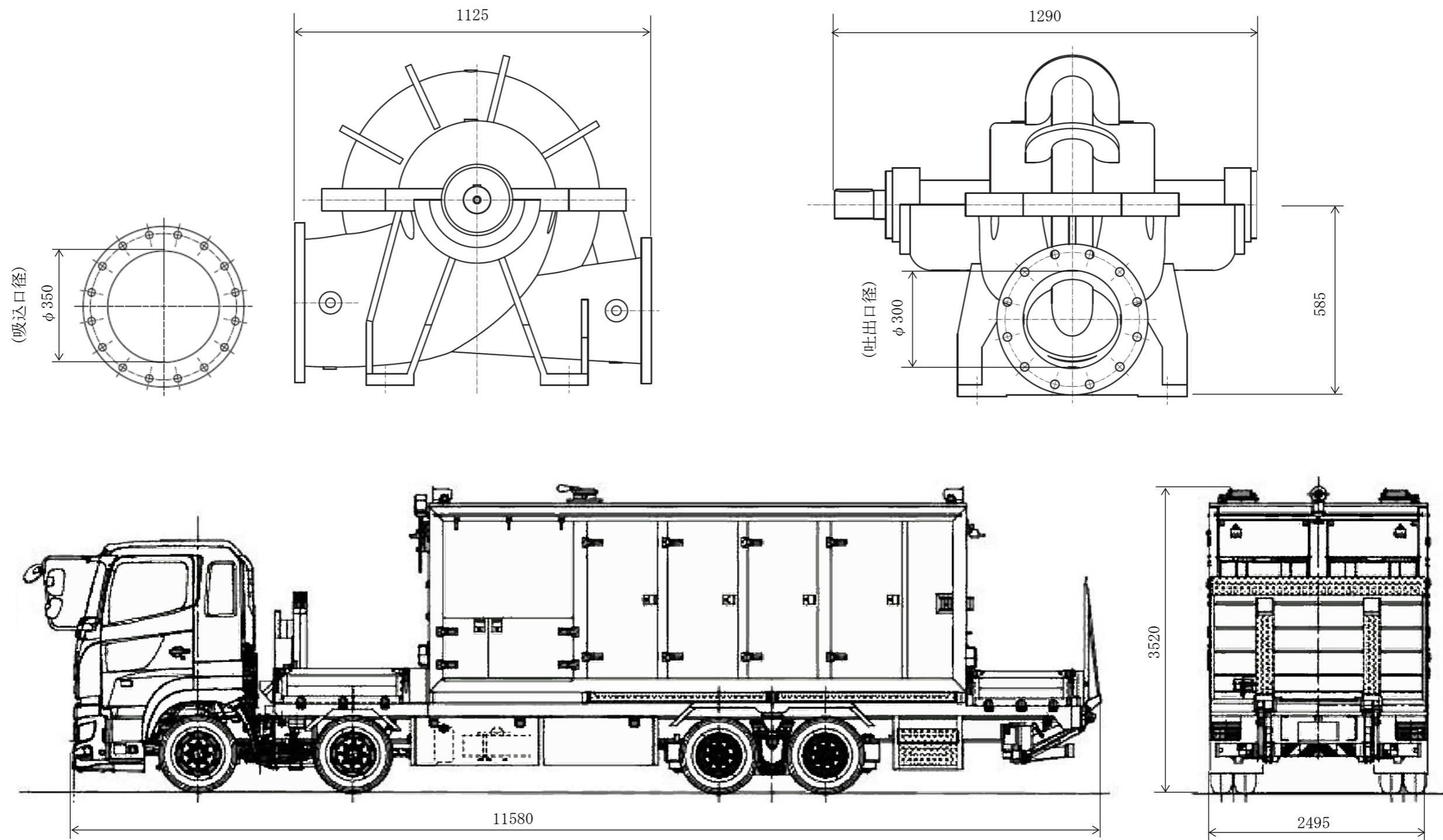
第 2.5.7.3.8-3 図
大型移送ポンプ車の構造図(その 1)

第2.5.7.3.8-3図 大型移送ポンプ車の構造図(その1) 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法* (mm)		許容範囲	根拠
吸込口径	350		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
吐出口径	300		同上
たて	1125		同上
横	1290		同上
高さ	585		同上
車両全長	11580	—	概略寸法のため規定しない
車両全幅	2495	—	概略寸法のため規定しない
車両全高	3520	—	概略寸法のため規定しない

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請記載の公称値を示す。



(単位 : mm)

第 2.5.7.3.8-4 図
大型移送ポンプ車の構造図(その 2)

第2.5.7.3.8-4図 大型移送ポンプ車の構造図(その2) 別紙

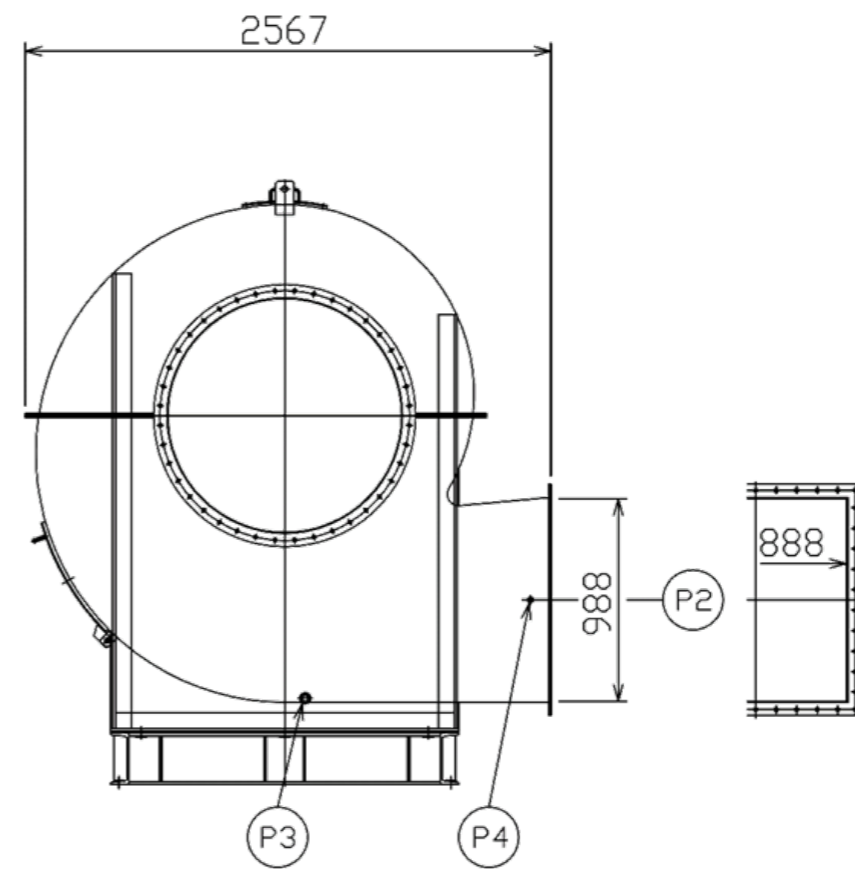
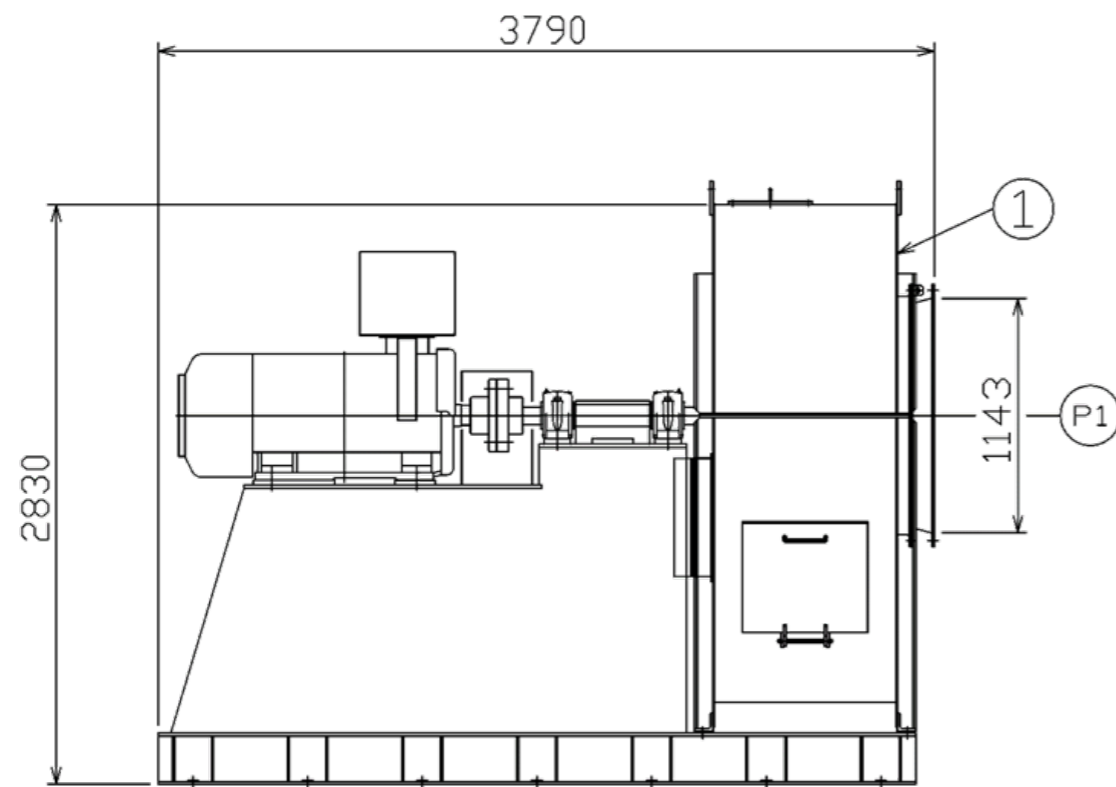
公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法* (mm)		許容範囲	根拠
吸込口径	350		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
吐出口径	300		同上
たて	1125		同上
横	1290		同上
高さ	585		同上
車両全長	11580	—	概略寸法のため規定しない
車両全幅	2495	—	概略寸法のため規定しない
車両全高	3520	—	概略寸法のため規定しない

注記 * : 主要寸法は, 設工認申請記載の公称値を示す。

P4	風圧測定口	15A	1	—
P3	ドレン	40A	1	—
P2	吐出口	988×888	1	緊急時対策建屋送風機(2146-K521~K524)~ 全社対策室(W0136), 対策本部室(W0147)
P1	吸込口	1143	1	緊急時対策建屋フィルタユニット出口ダクト合流点 ~緊急時対策建屋送風機(2146-K521~K524)
符号	名称	呼び径	個数	接続配管
管台一覧表				

図中の管台は構造上の構成及び接続配管等の配置の状況を示す。



1	ケーシング	1	SS400
番号	名称	個数	材料
部品表			

個数は、1個あたりの個数を示す。

(単位：mm)

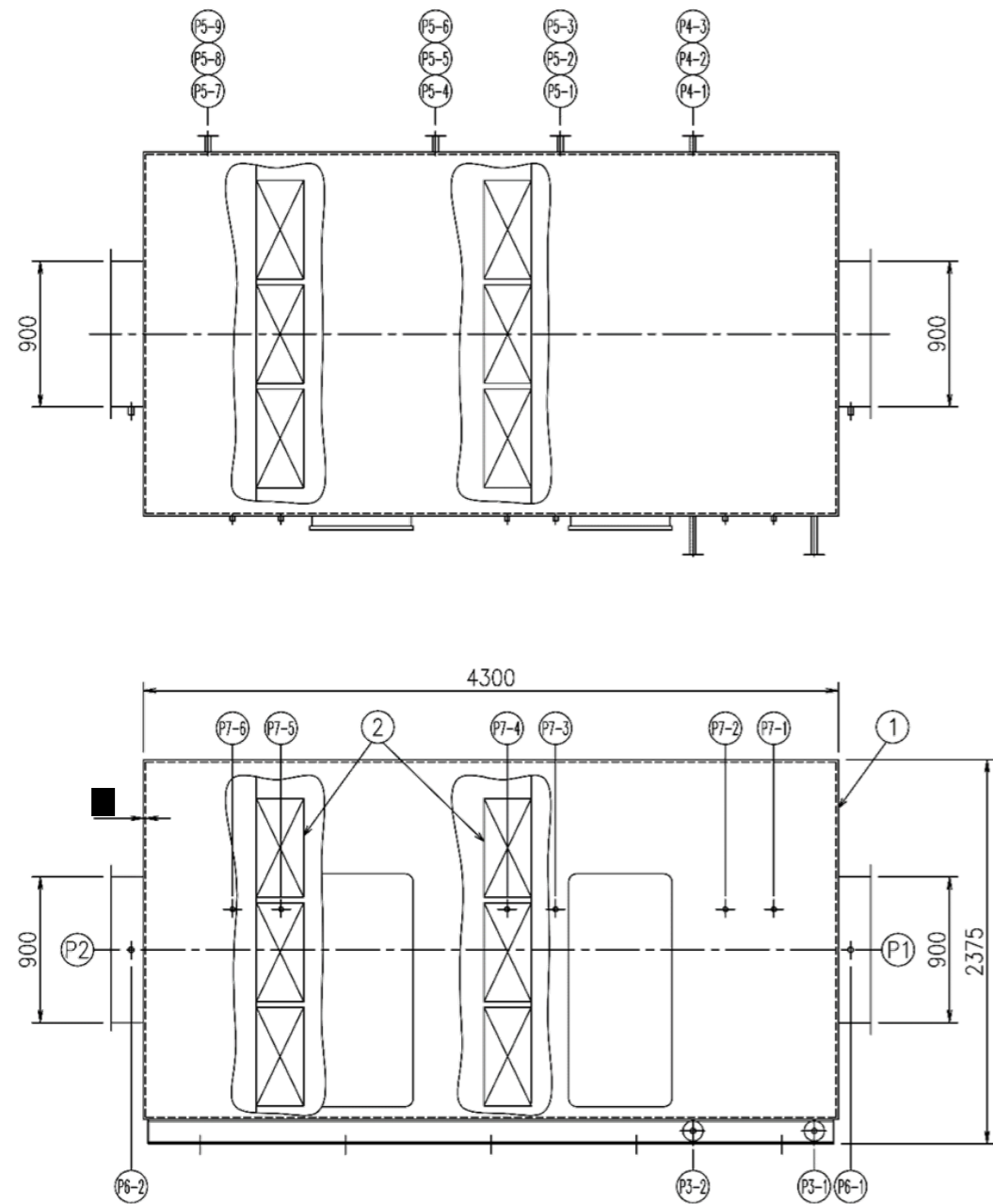
第 2.5.7.3.9.2-1 図

緊急時対策建屋送風機(2146-K521~K524)の構造図

第2.5.7.3.9.2-1図 緊急時対策建屋送風機(2146-K521~K524)の構造図 別紙

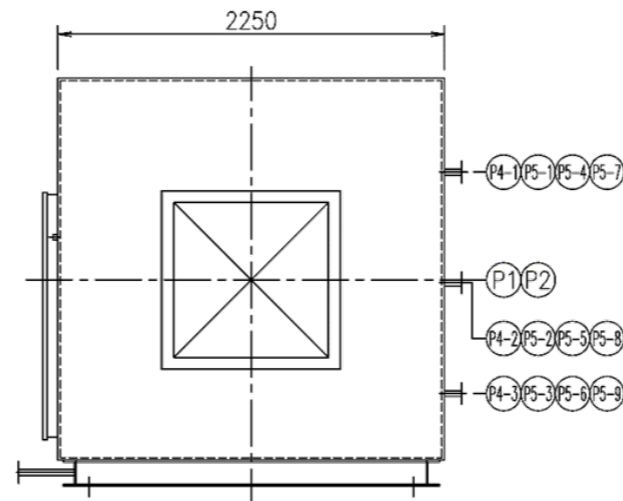
公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
吸込口径	1143	■	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
吐出口径	988×888	■	同上
たて	2567	■	同上
横	3790	■	同上
高さ	2830	■	同上



P7-1~6	差圧測定口	Rc1/4	6	—
P6-1~2	DOP粒子測定口	Rc1/2	2	—
P5-1~9	DOP粒子測定口	25A	9	—
P4-1~3	DOP粒子投入口	25A	3	—
P3-1~2	ドレン	25A	2	—
P2	吐出口	900×900	1	緊急時対策建屋フィルタユニット(2146-F501~F506)~緊急時対策建屋フィルタユニット出口ダクト合流点
P1	吸込口	900×900	1	緊急時対策建屋フィルタユニット入口ダクト合流点~緊急時対策建屋フィルタユニット(2146-F501~F506)
符号	名称	呼び径	個数	接続配管
管台一覧表				

図中の管台は構造上の構成及び接続配管等の配置の状況を示す。



2	ろ材	18	グラスファイバー
1	ケーシング	1	SUS304
番号	名称	個数	材料
部品表			

個数は、1個あたりの個数を示す。

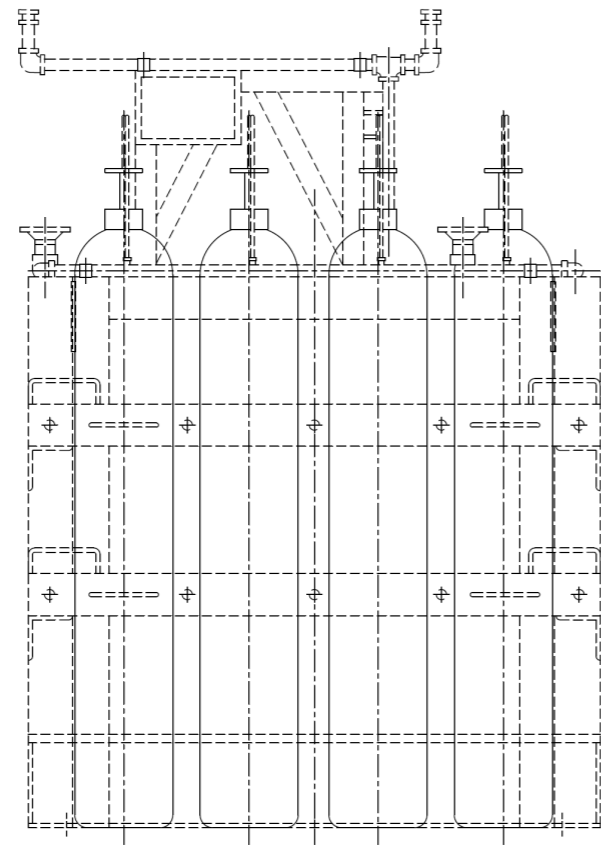
(単位：mm)

第 2.5.7.3.9.2-2 図
緊急時対策建屋フィルタユニット(2146-F501~F506)の構造図

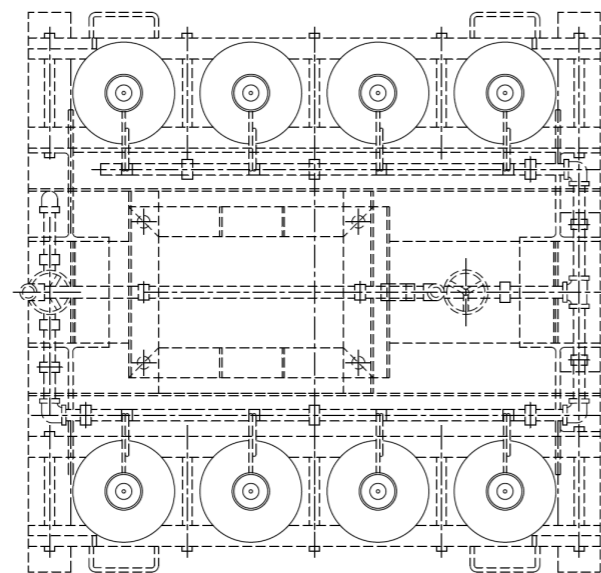
第2.5.7.3.9.2-2図 緊急時対策建屋フィルタユニット(2146-F501~F506)の構造図 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

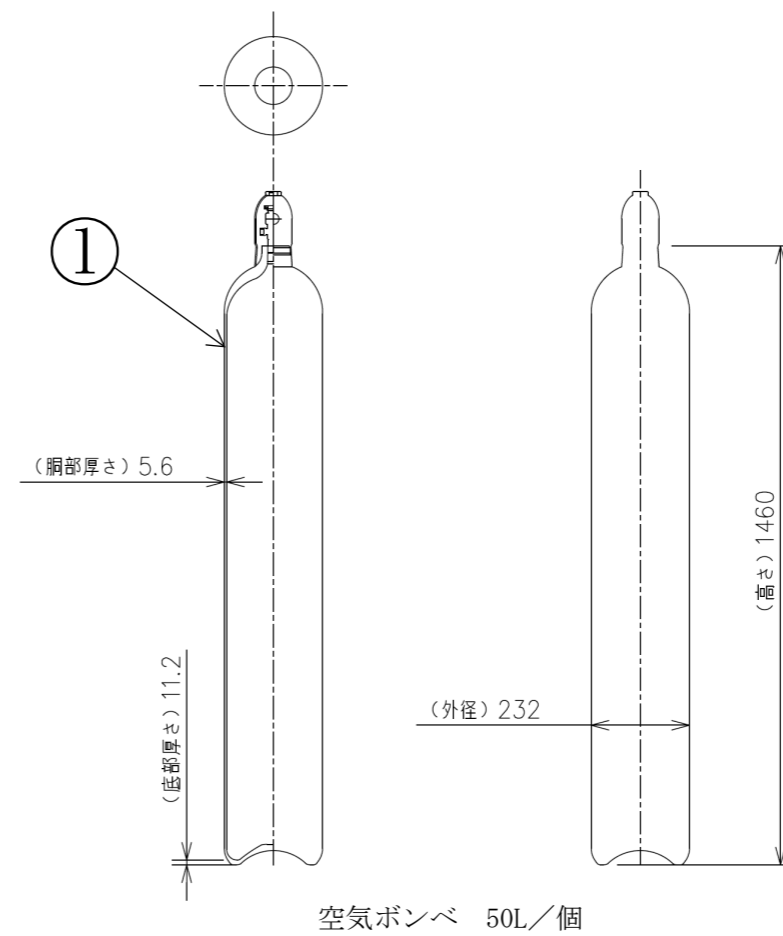
主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
吸込口径	900×900	■	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
吐出口径	900×900	■	同上
全長	4300	■	同上
全幅	2250	■	同上
全高	2375	■	同上
厚さ	■	■ ■	同上



8本ユニット設置



1	空気ポンベ	8	クロムモリブデン鋼
番号	名称	個数	材料
部品表			



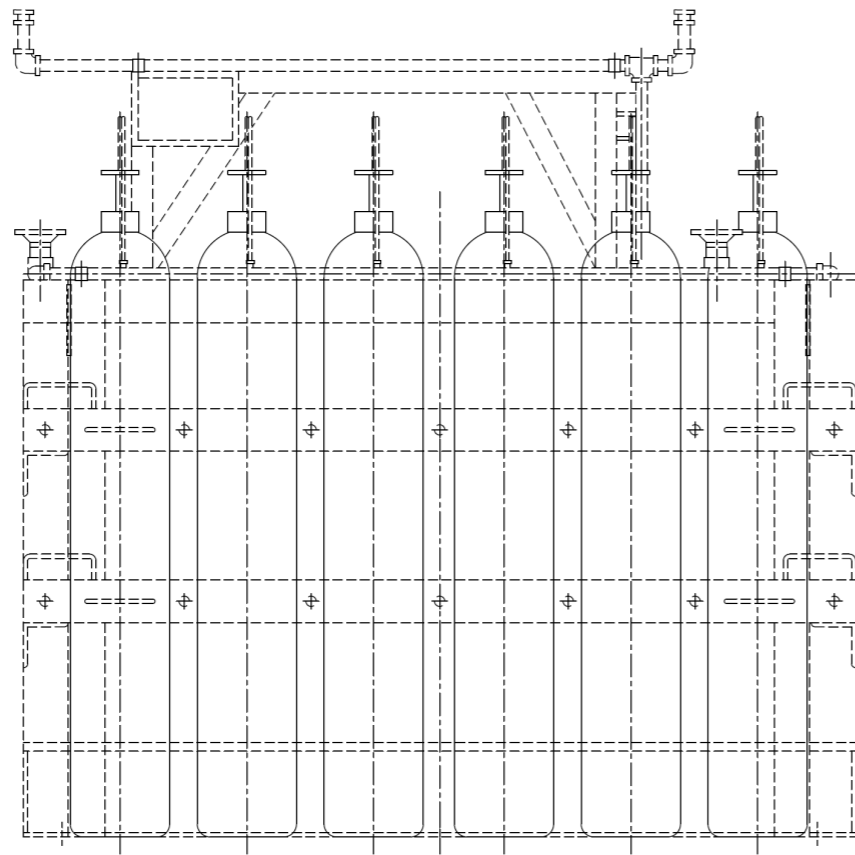
第 2.5.7.3.9.2-3 図

緊急時対策建屋加圧ユニットの構造図(その1)

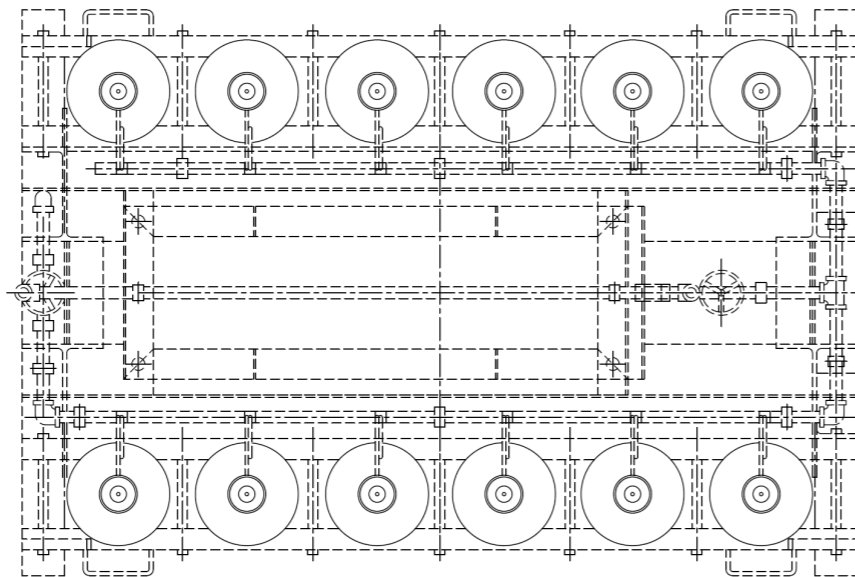
第2.5.7.3.9.2-3図 緊急時対策建屋加圧ユニットの構造図(その1) 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

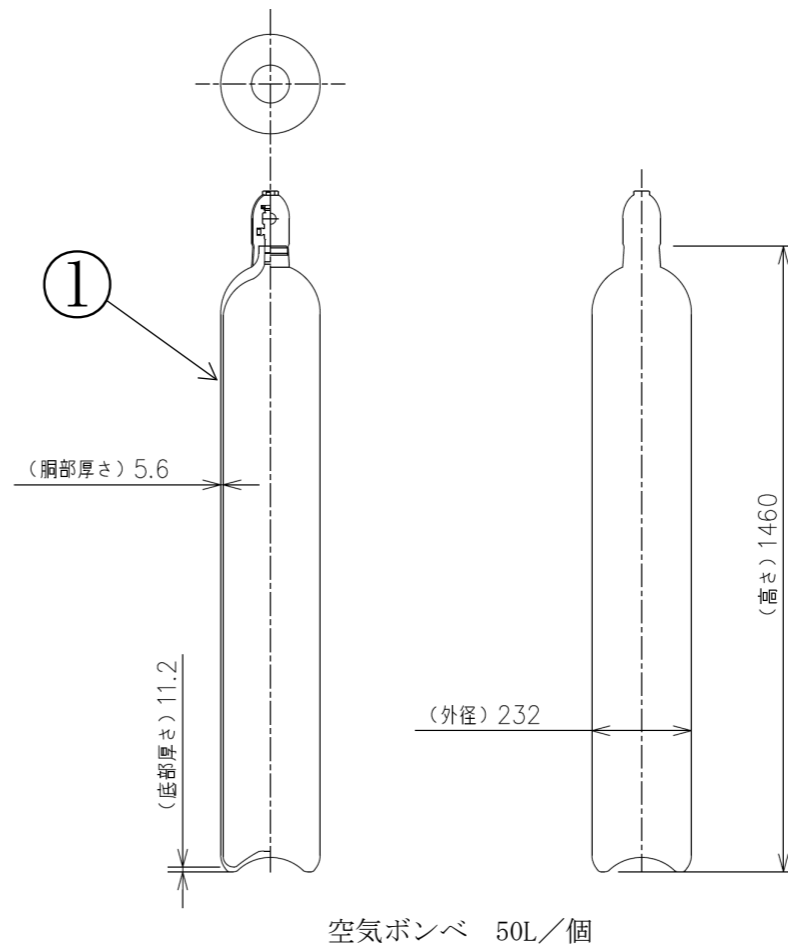
主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	232	±1%	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
高さ	1460	±10mm	同上
胴部厚さ	5.6	-0mm	同上
底部厚さ	11.2	-0mm	同上



12本ユニット設置



1	空気ポンベ	12	クロムモリブデン鋼
番号	名称	個数	材料
部品表			

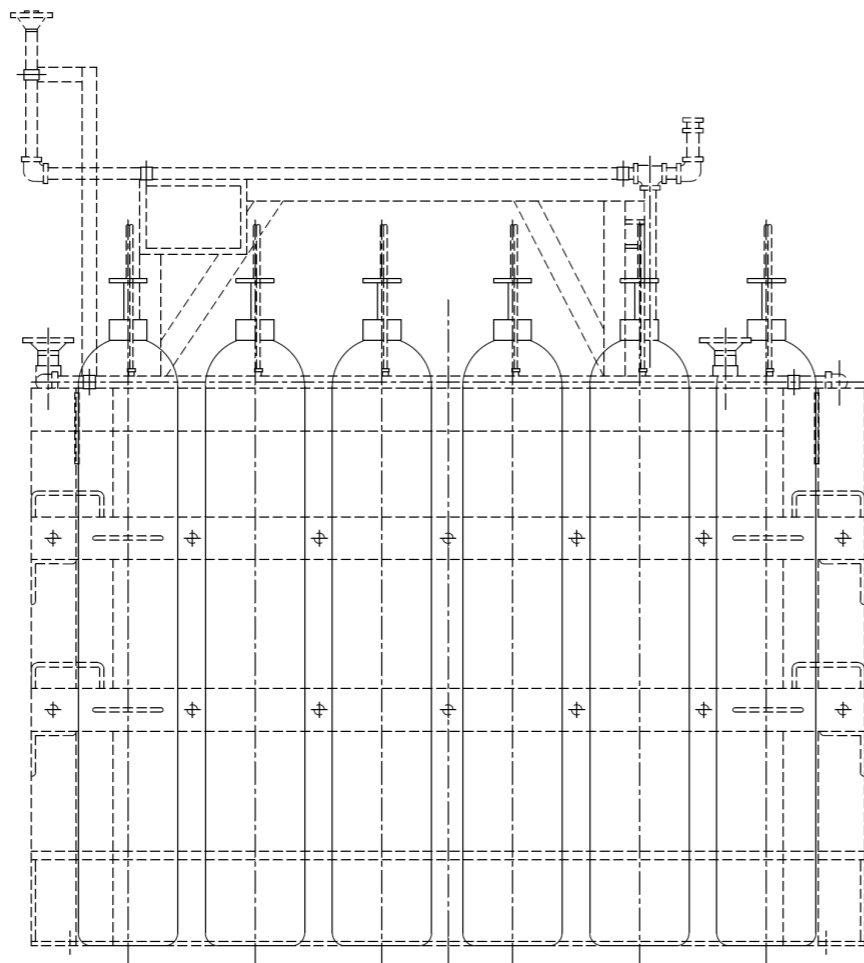


第 2.5.7.3.9.2-4 図
緊急時対策建屋加圧ユニットの構造図(その 2)

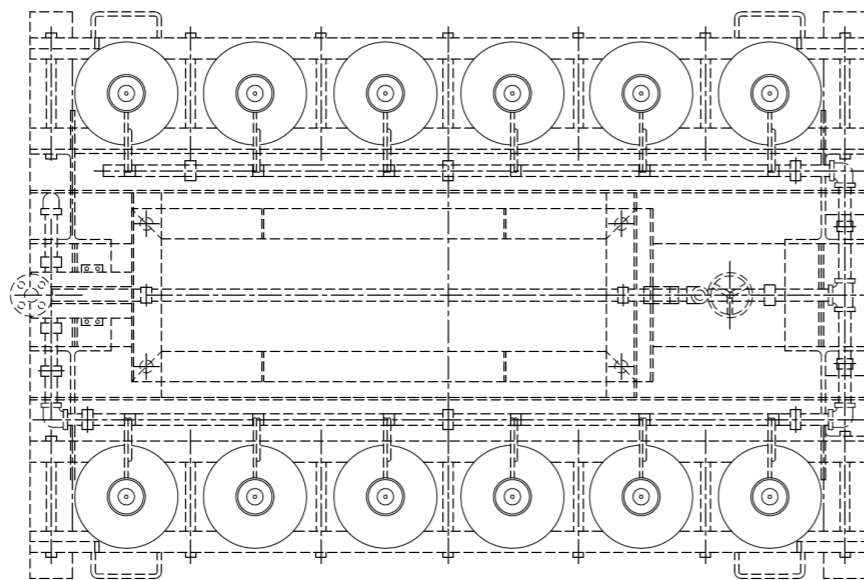
第2.5.7.3.9.2-4図 緊急時対策建屋加圧ユニットの構造図(その2) 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

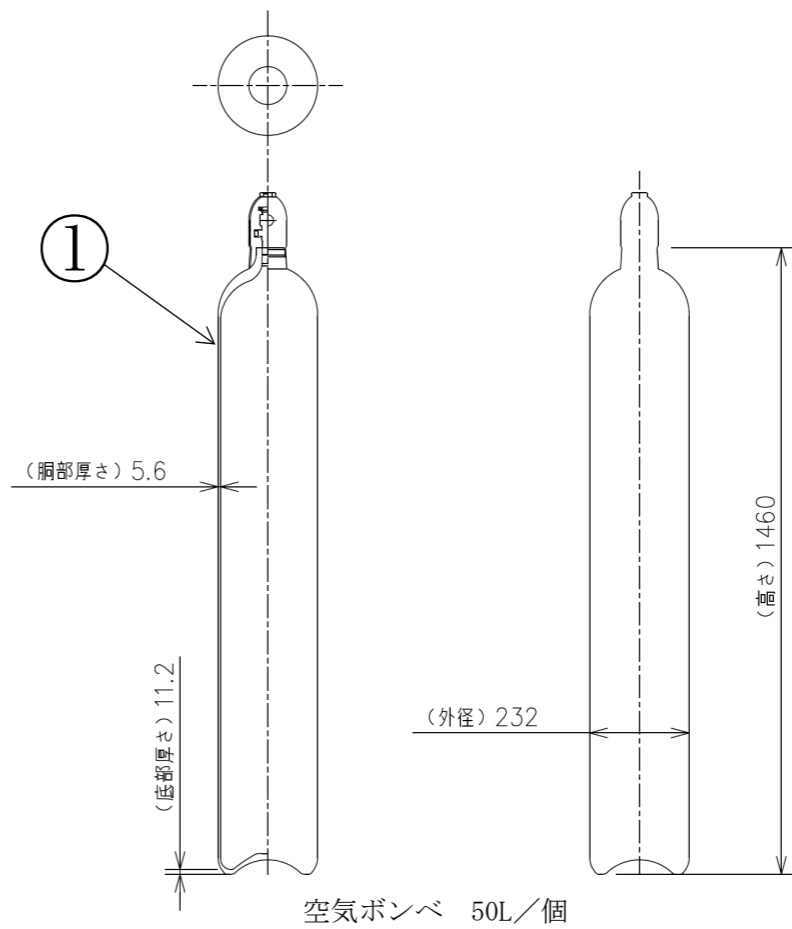
主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	232	±1%	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
高さ	1460	±10mm	同上
胴部厚さ	5.6	-0mm	同上
底部厚さ	11.2	-0mm	同上



12本ユニット設置



1	空気ポンベ	12	クロムモリブデン鋼
番号	名称	個数	材料
部品表			

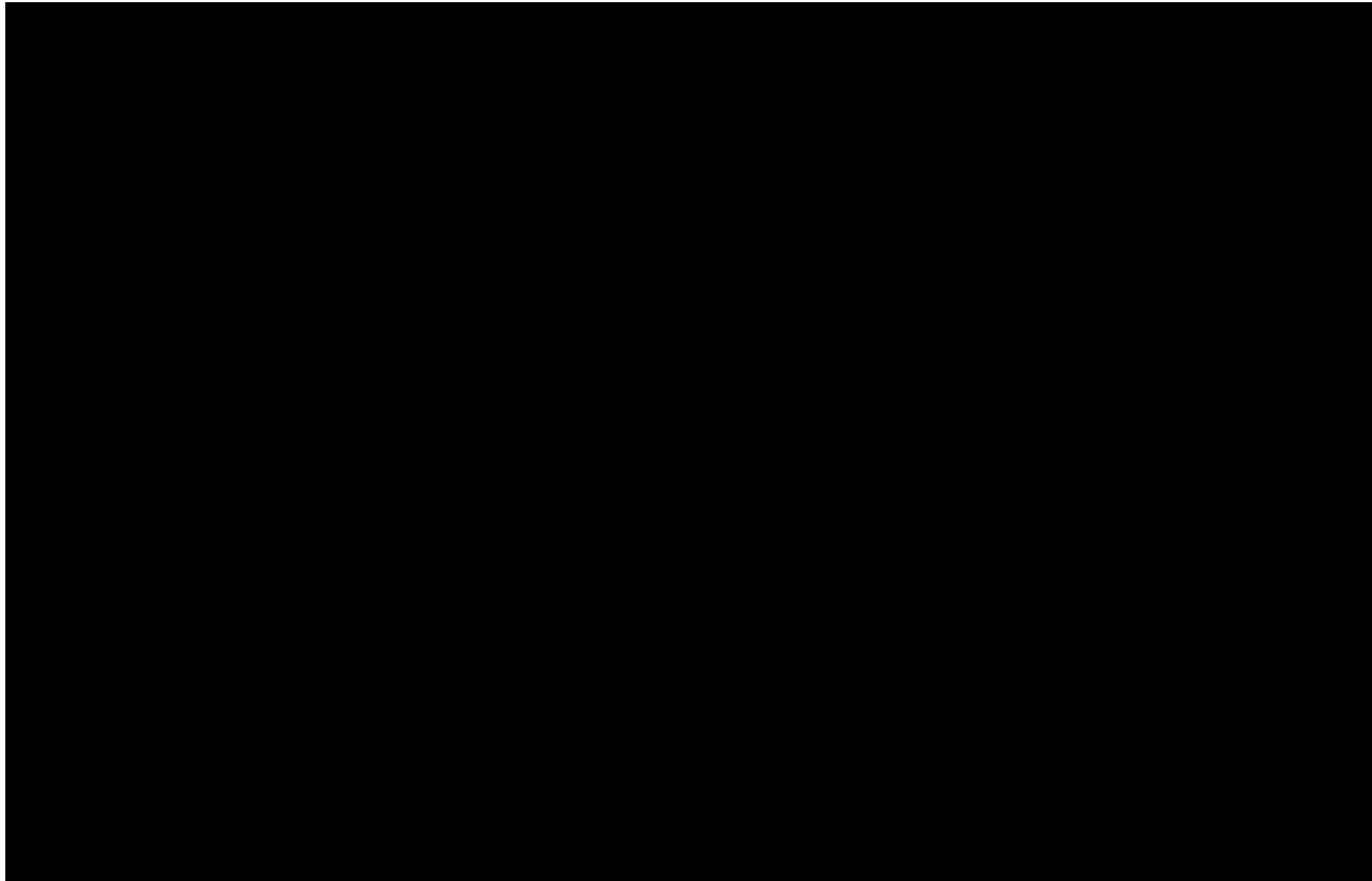


第 2.5.7.3.9.2-5 図
緊急時対策建屋加圧ユニットの構造図(その 3)

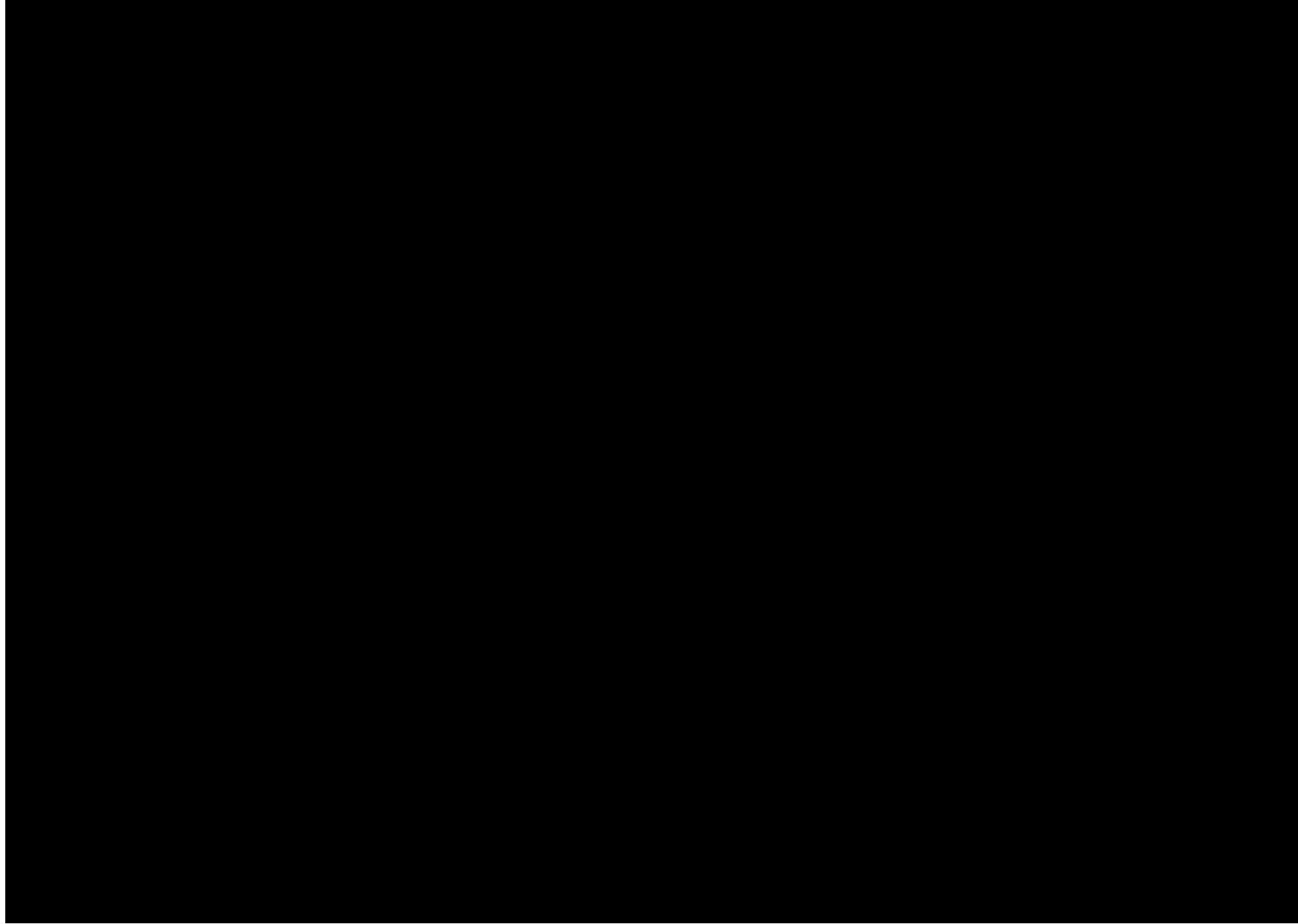
第2.5.7.3.9.2-5図 緊急時対策建屋加圧ユニットの構造図(その3) 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

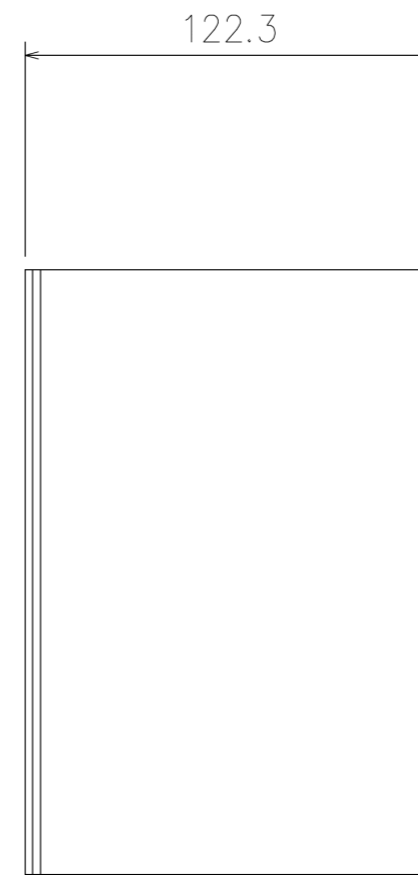
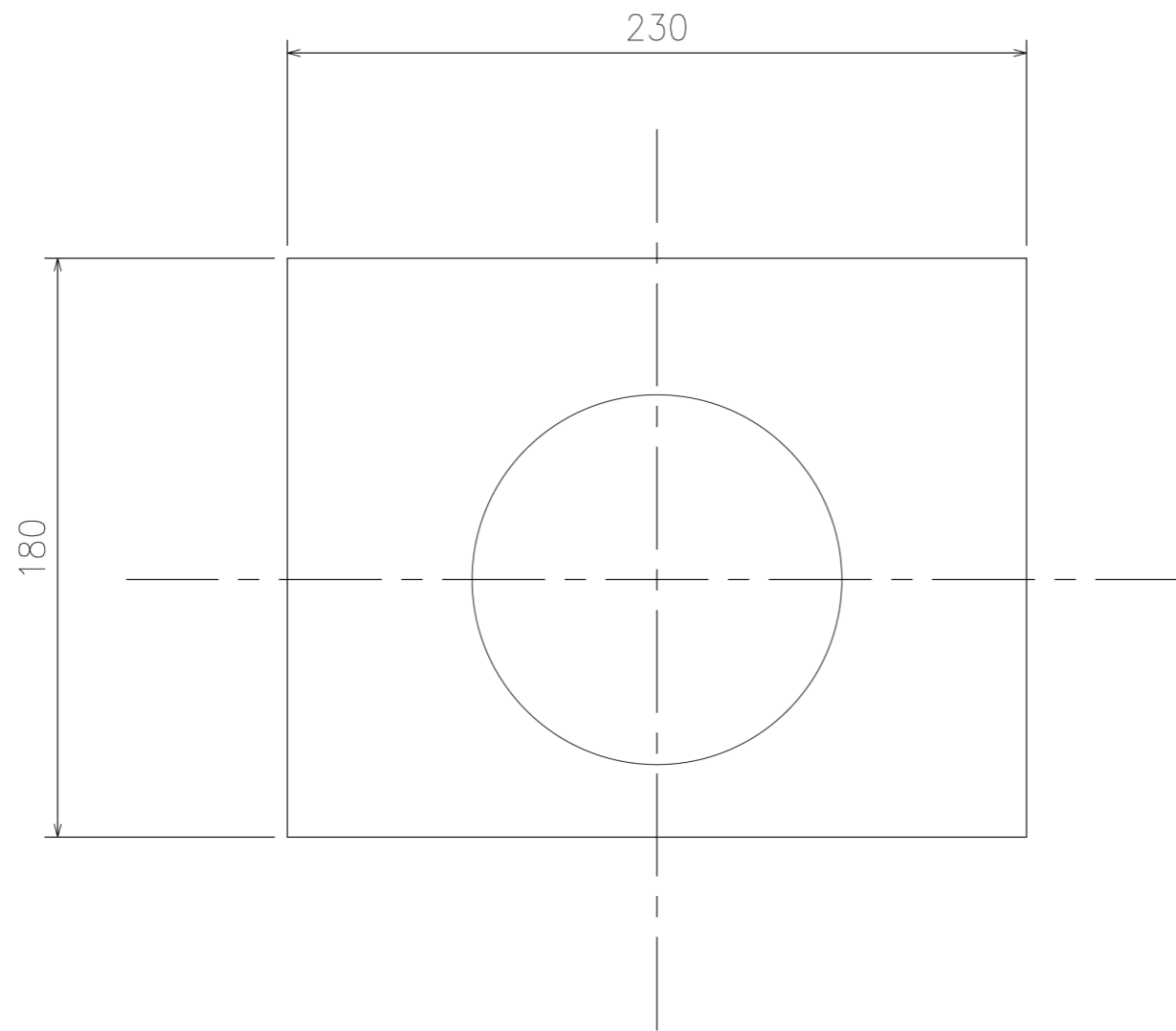
主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
外径	232	±1%	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
高さ	1460	±10mm	同上
胴部厚さ	5.6	-0mm	同上
底部厚さ	11.2	-0mm	同上



第 2.5.7.3.9.2-6 図
主要弁(2146-W9201, W9202)の構造図



第 2.5.7.3.9.2-7 図
主要弁(2146-W9203, W9204)の構造図



本図では以下の計器架台の構造図を示す。

対策本部室差圧計計器架台
対策本部室差圧計（2146-PDI-100-1）を収納

待機室差圧計計器架台
待機室差圧計（2146-PDI-101-1）を収納

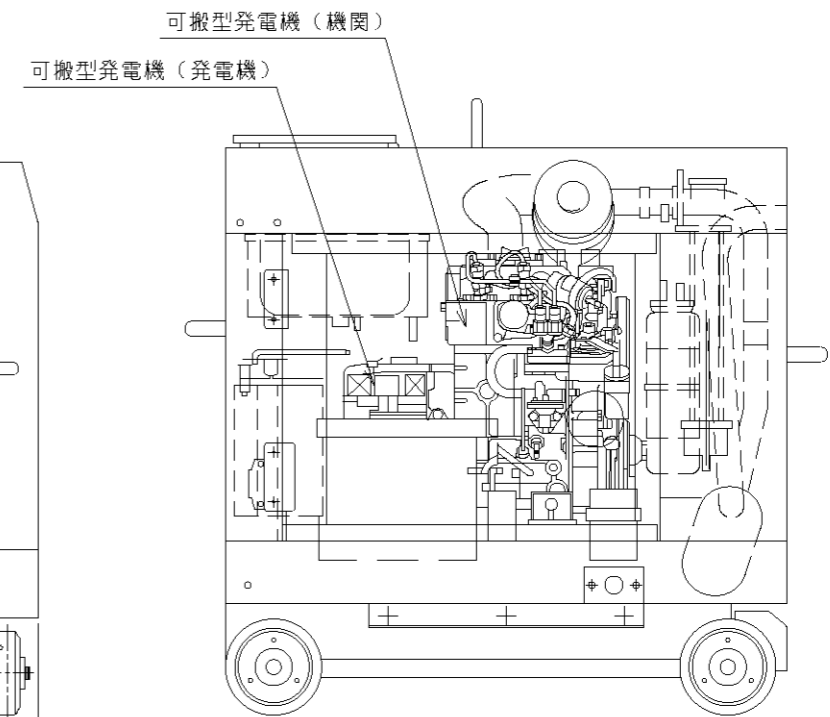
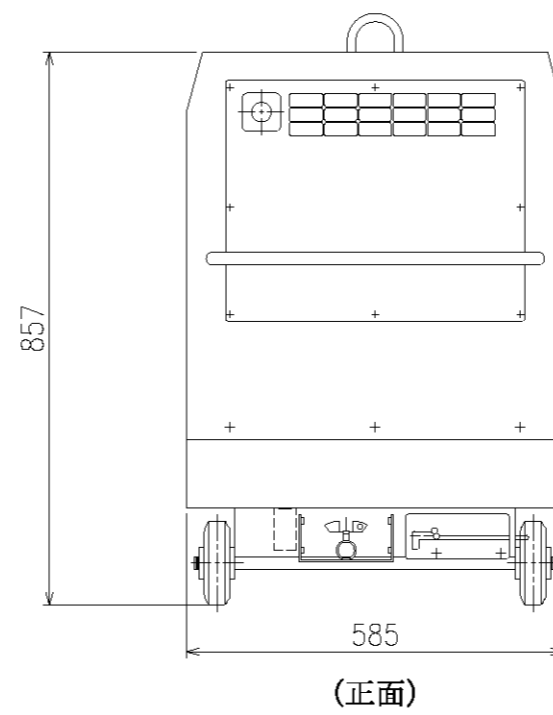
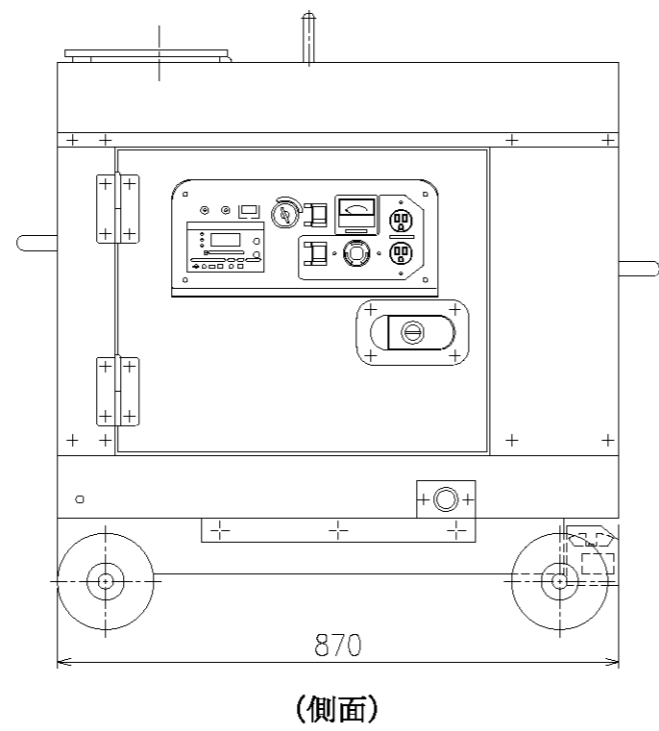
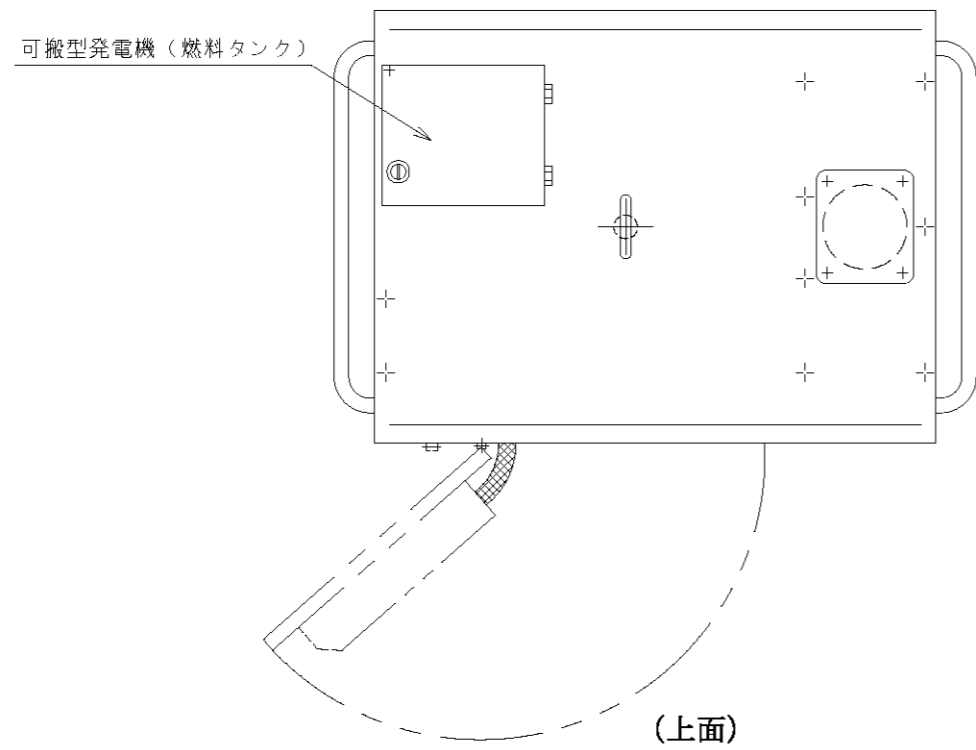
名 称	台数	外形寸法 (mm)		
		たて	横	高さ
対策本部室差圧計計器架台	1	122.3	230	180
待機室差圧計計器架台	1	122.3	230	180

第 2.5.7.3.9.2-8 図
差圧計計器架台の構造図

第2.5.7.3.8.1-8図 差圧計計器架台の構造図 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	122.3	±10mm	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
横	230	±10mm	同上
高さ	180	±10mm	同上



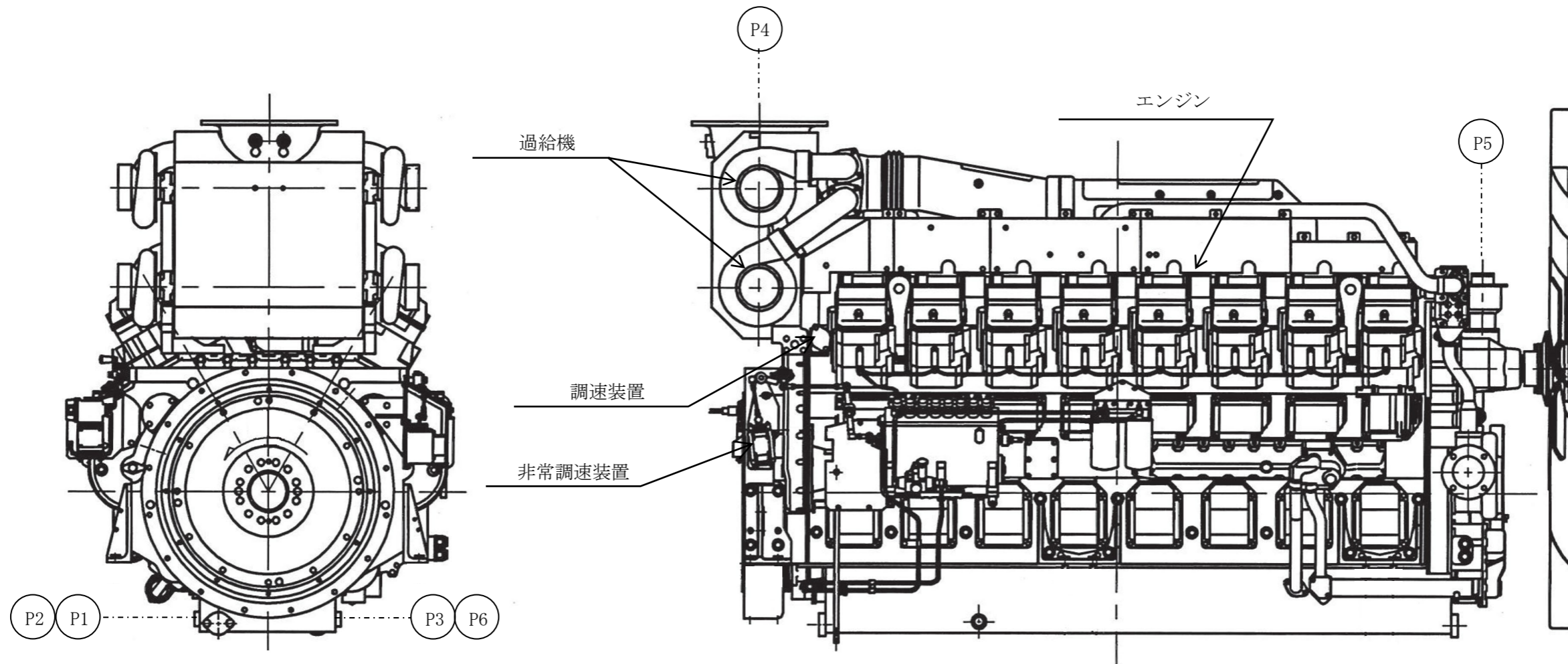
第 2.5.7.3.9.3-1 図
緊急時対策建屋放射線計測設備（可搬型発電機）の構造図

第2.5.7.3.9.3-1図 緊急時対策建屋放射線計測設備（可搬型発電機）の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

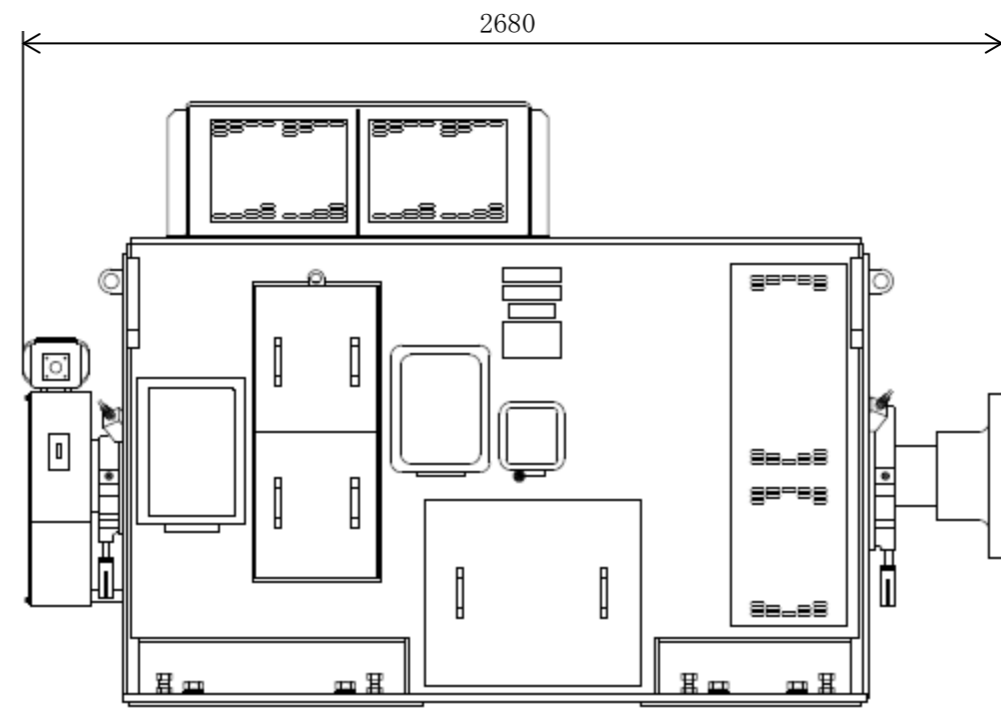
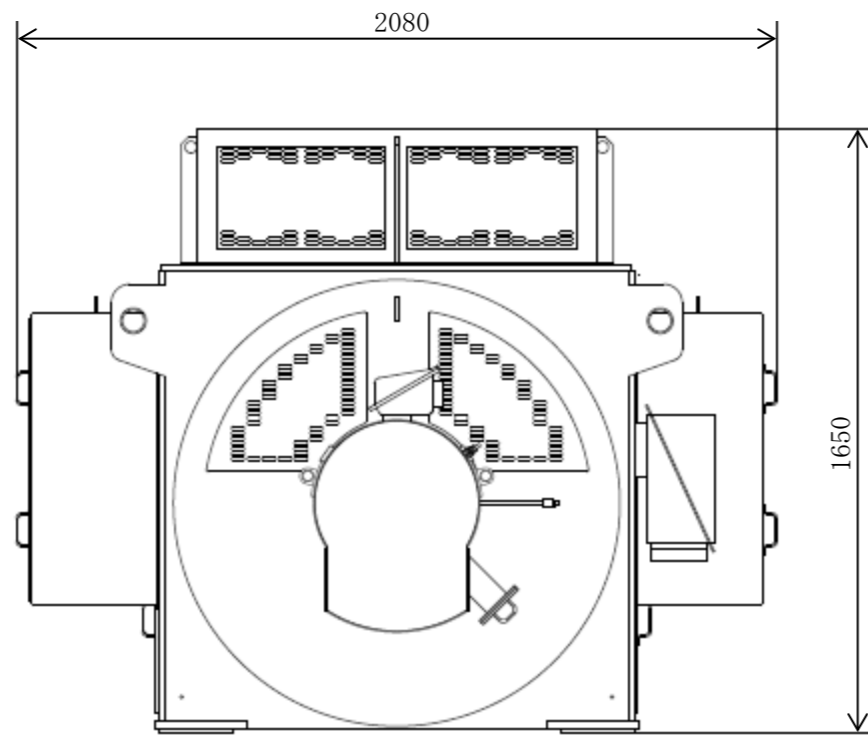
主要寸法*1 (mm)		許容範囲 (mm)	根拠
幅	870	±7	製造能力、製造実績を考慮した メーカー基準
奥行	585	±7	同上
高さ	857	±7	同上

注記 *1 主要寸法は、設工認申請記載の公称値を示す。



P6	潤滑油ドレン	25A	1	
P5	ベント	65A	1	
P4	排気出口	350A	1	
P3	潤滑油入口	20A	1	
P2	燃料油戻り出口	20A	1	
P1	燃料油入口	20A	1	2146-F0-103-20
				2146-F0-003-20
符号	名称	呼び径	個数	接続配管
管台一覧表				

第 2.5.7.3.9.5-1 図
緊急時対策建屋用発電機(ディーゼル機関) (2146-X31, X33) の構造図



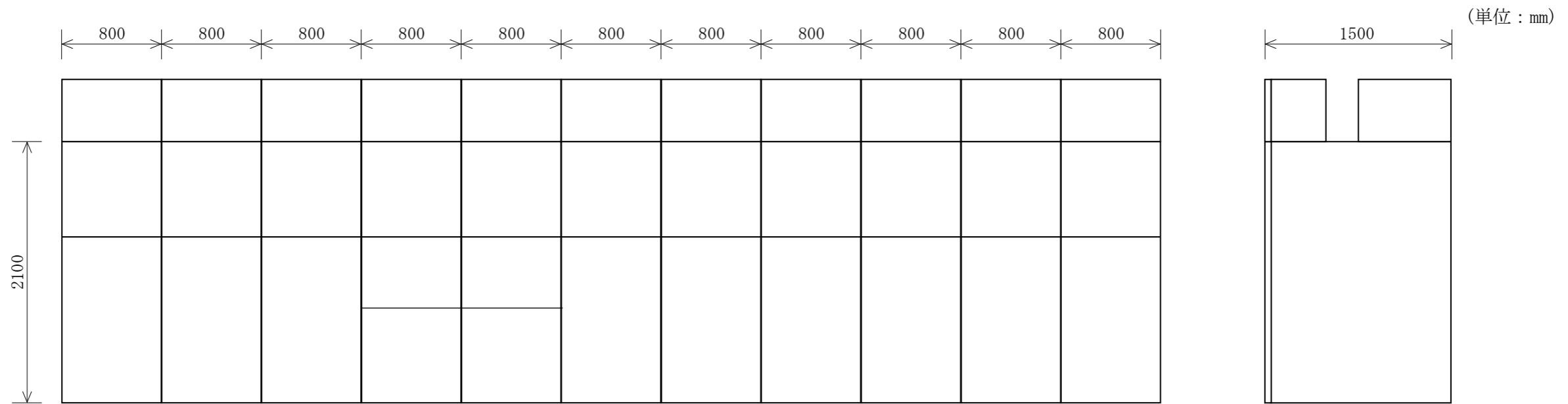
(単位：mm)

第 2.5.7.3.9.5-2 図
緊急時対策建屋用発電機(発電機) (2146-X32, X34) の構造図

第2.5.7.3.9.5-2図 緊急時対策建屋用発電機(発電機)(2146-X32, X34)の構造図 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	2680	■	■
横	2080	■	■
高さ	1650	■	■



機器名称	台数	外形寸法(mm)		
		幅	奥行	高さ
6.9kV メタクラ A (AZ-M/C-A)	11	800	1500	2100
6.9kV メタクラ B (AZ-M/C-B)	11	800	1500	2100

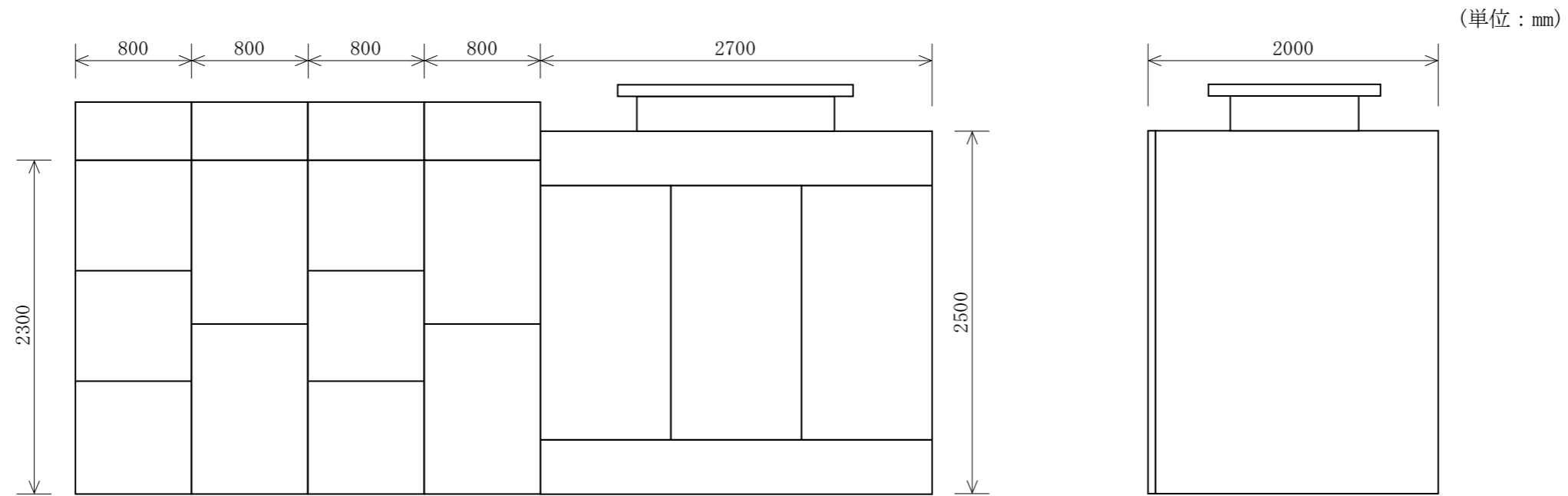
注:ケーブルダクト等の付属品は高さに含まない。

第 2.5.7.3.9.5-3 図
6.9kV メタクラ A, B(AZ-M/C-A, AZ-M/C-B)の構造図

第2.5.7.3.9.5-3図 6.9kVメタクラA, B(AZ-M/C-A, AZ-M/C-B)の構造図 別紙

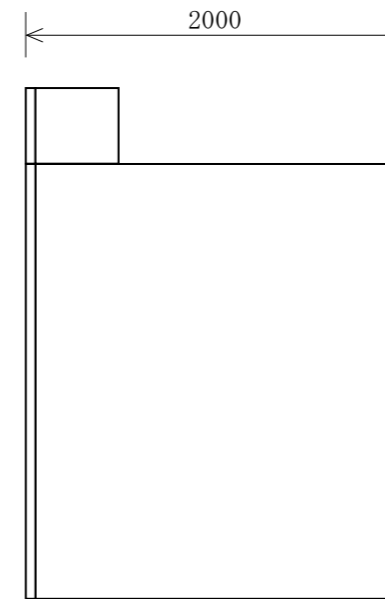
公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
幅	800	±2mm	JEM-1459による
奥行	1500	±6mm	同上
高さ	2100	±4mm	同上



機器名称	台数	外形寸法(mm)		
		幅	奥行	高さ
460V パワーセンタ A1 (AZ-P/C-A1)	4	800	2000	2300
	1	2700	2000	2500

注:ケーブルダクト、ベンチレータ等の付属品は高さに含まない。



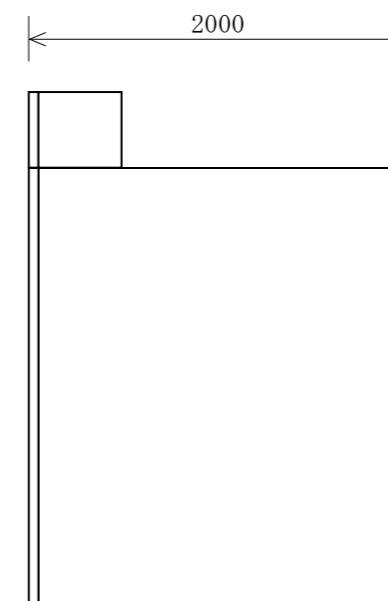
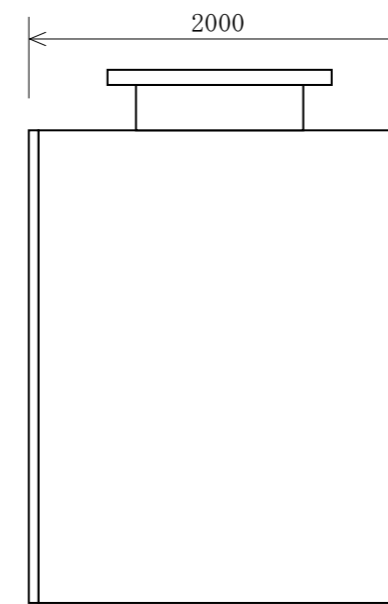
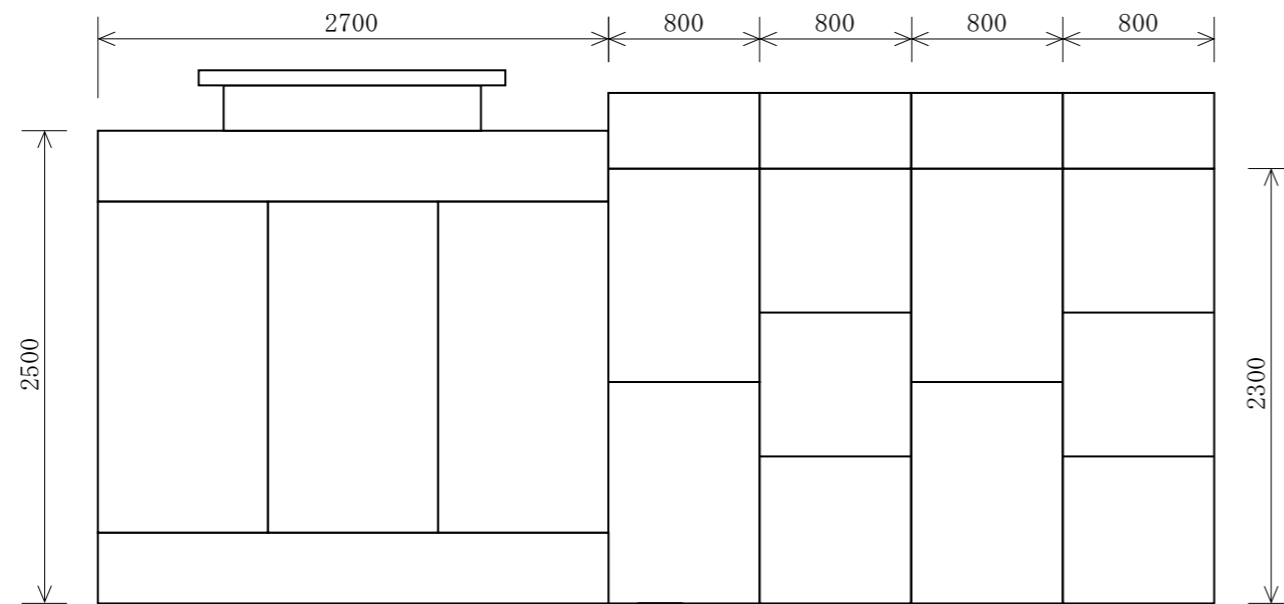
第 2.5.7.3.9.5-4 図
460V パワーセンタ A1 (AZ-P/C-A1) の構造図

第2.5.7.3.9.5-4図 460VパワーセンタA1(AZ-P/C-A1)の構造図 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
幅	800	±2mm	JEM-1459による
	2700	±4mm	同上
奥行	2000	±6mm	同上
高さ	2300	±4mm	同上
	2500	±4mm	同上

(単位 : mm)



機器名称	台数	外形寸法(mm)		
		幅	奥行	高さ
460V パワーセンタ B1 (AZ-P/C-B1)	1	2700	2000	2500
	4	800	2000	2300

注:ケーブルダクト、ベンチレータ等の付属品は高さに含まない。

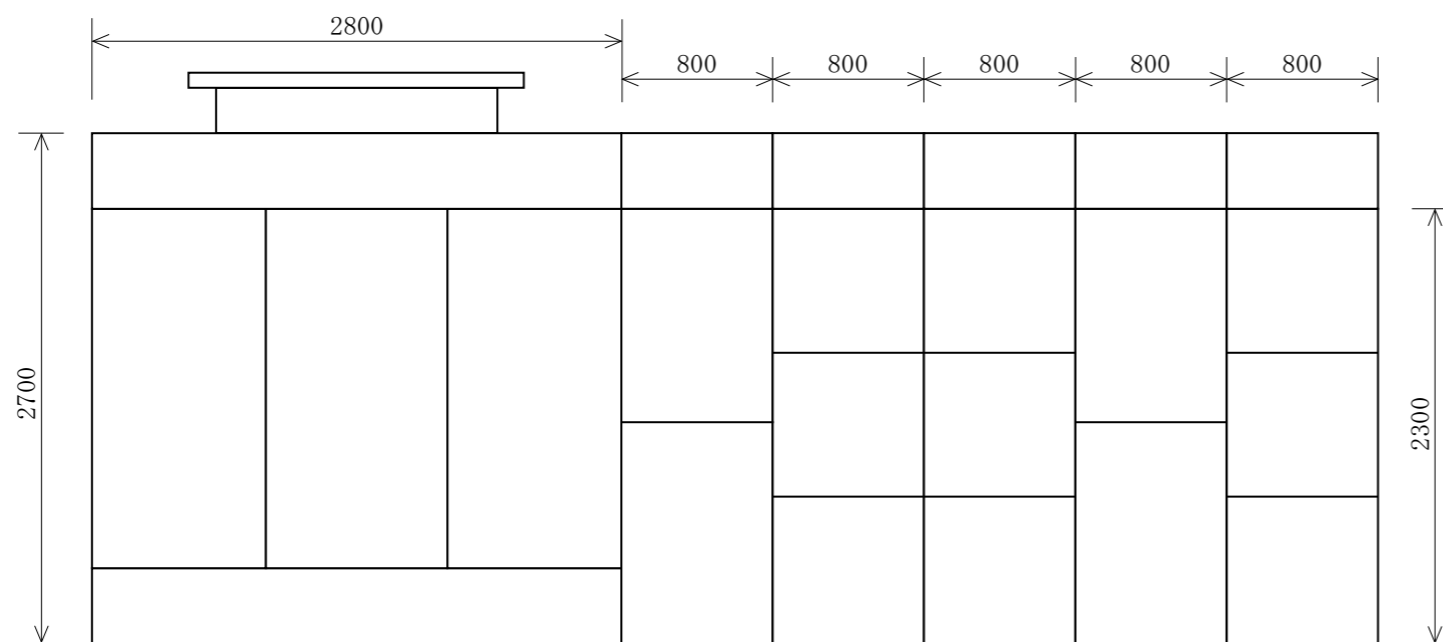
第 2.5.7.3.9.5-5 図

460V パワーセンタ B1 (AZ-P/C-B1) の構造図

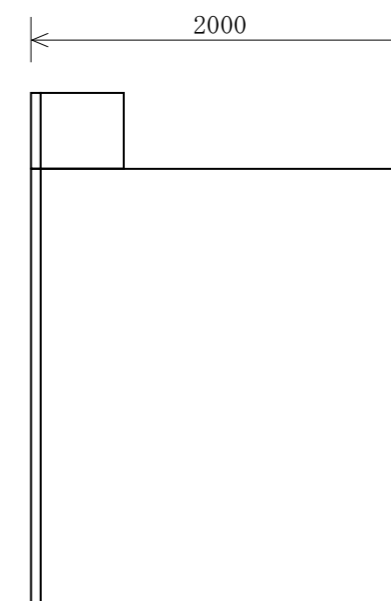
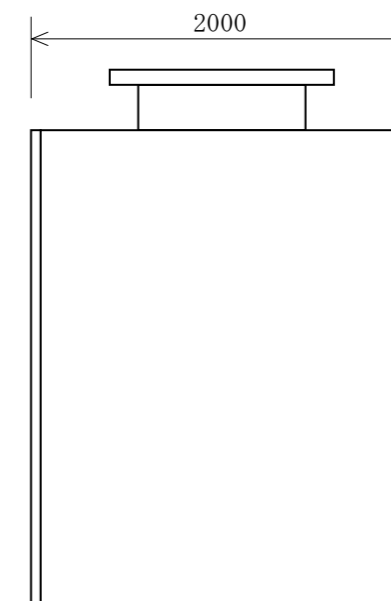
第2.5.7.3.9.5-5図 460VパワーセンタB1(AZ-P/C-B1)の構造図 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
幅	2700	±4mm	JEM-1459による
	800	±2mm	同上
奥行	2000	±6mm	同上
高さ	2500	±4mm	同上
	2300	±4mm	同上



(単位 : mm)



機器名称	台数	外形寸法(mm)		
		幅	奥行	高さ
460V パワーセンタ A2 (AZ-P/C-A2)	1	2800	2000	2700
	5	800	2000	2300
460V パワーセンタ B2 (AZ-P/C-B2)	1	2800	2000	2700
	5	800	2000	2300

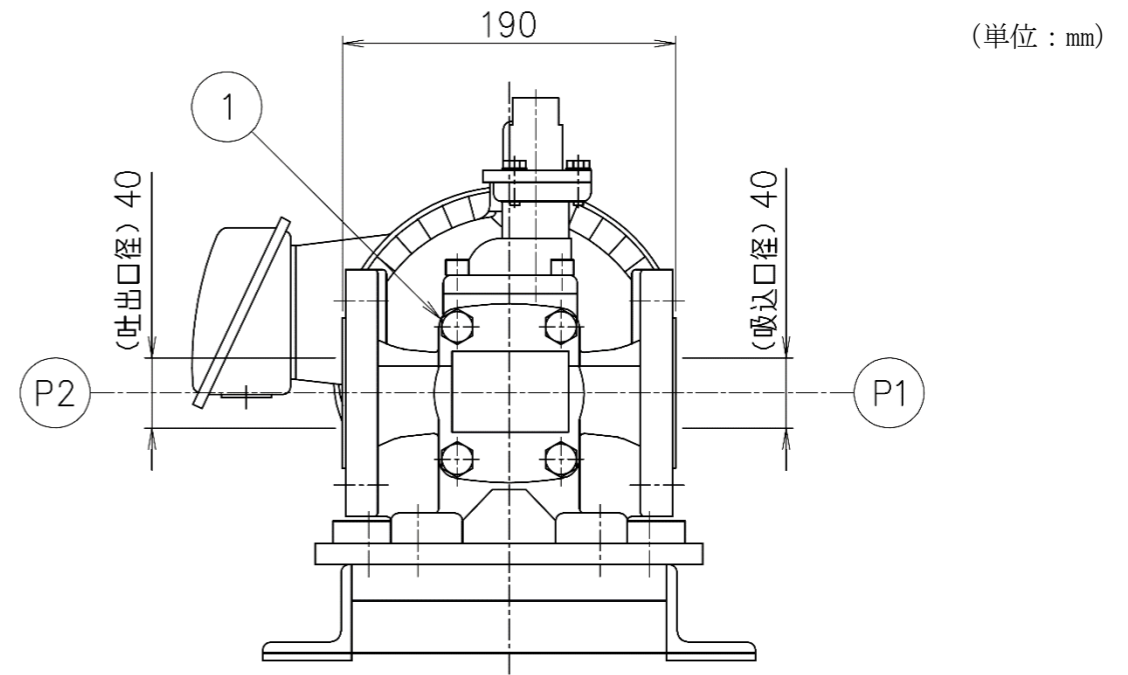
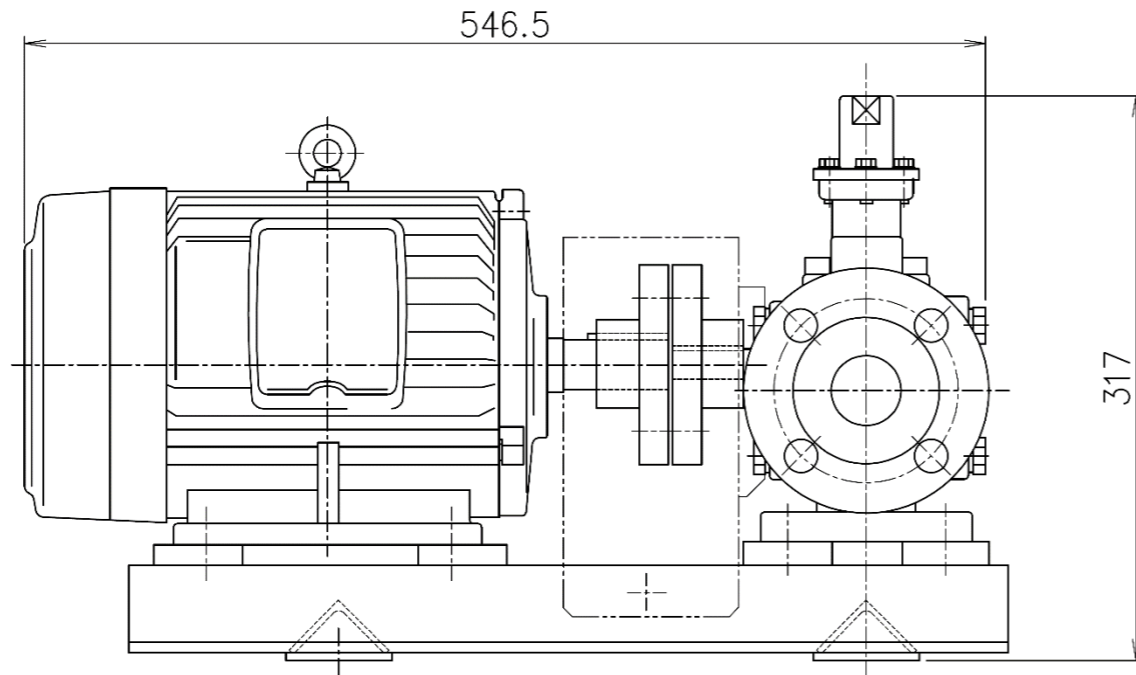
注:ケーブルダクト、ベンチレータ等の付属品は高さに含まない。

第 2.5.7.3.9.5-6 図
460V パワーセンタ A2, B2 (AZ-P/C-A2, AZ-P/C-B2) の構造図

第2.5.7.3.9.5-6図 460VパワーセンタA2, B2(AZ-P/C-A2, AZ-P/C-B2)の構造図 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
幅	2800	±4mm	JEM-1459による
	800	±2mm	同上
奥行	2000	±6mm	同上
高さ	2700	±4mm	同上
	2300	±4mm	同上



(単位 : mm)

符号	名称	呼び径	個数	接続配管
P2	吐出口	40A	1	2146-F0-112-40
				2146-F0-102-40
				2146-F0-012-40
				2146-F0-002-40
P1	吸込口	40A	1	2146-F0-111-40
				2146-F0-101-40
				2146-F0-011-40
				2146-F0-001-40
管台一覧表				接続配管

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管の状況を示す。

符号	名称	個数	材料
1	ケーシング	1	FC250

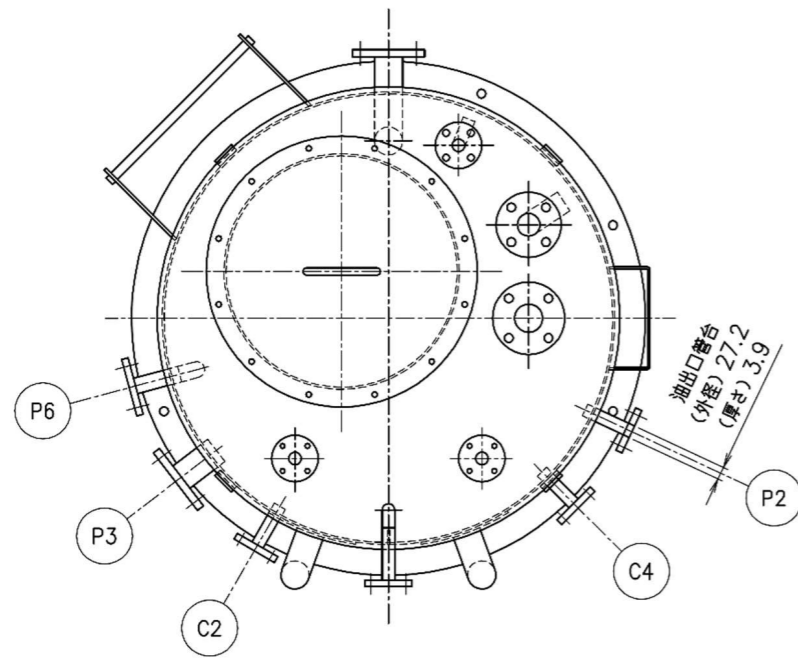
部品表
個数は、1個分の数量を示す。

第 2.5.7.3.9.5-7 図
燃料油移送ポンプ(2146-P1111, P1112, P1211, P1212)の構造図

第2.5.7.3.9.5-7図 燃料油移送ポンプ(2146-P1111, P1112, P1211, P1212)の構造図 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

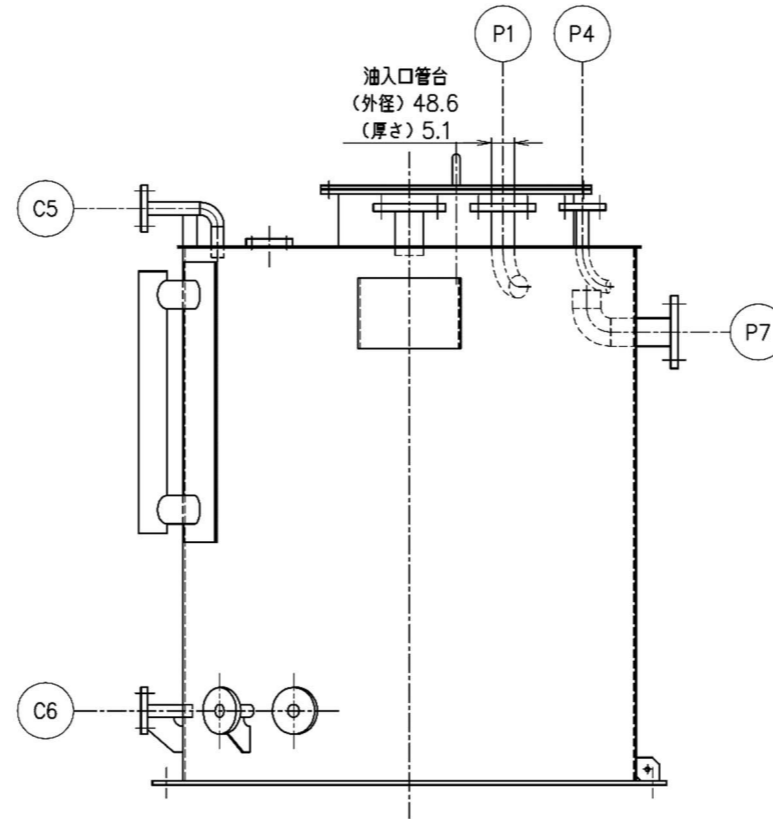
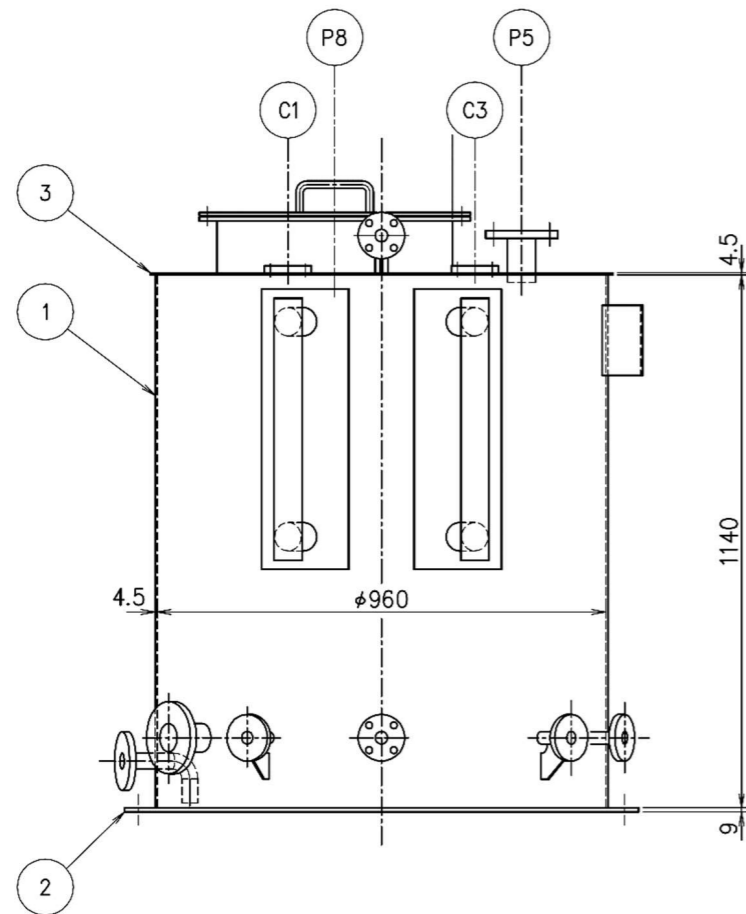
主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	190	±2.5mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	546.5	±4.0mm	同上
高さ	317	±2.5mm	同上
吸込口径	40	±3.0mm	同上
吐出口径	40	±3.0mm	同上



3	屋根板	1	SM400B
2	平板	1	SM400B
1	胴板	1	SM400B
番号	名称	個数	材料

部品表

個数は、1 個分の数量を示す。



(単位 : mm)

C6	油面計下部取出口	20A	1	
C5	油面計上部取出口	20A	1	
C4	差圧発信器座: 圧力側	20A	1	
C3	差圧発信器座: 大気側	20A	1	
C2	差圧発信器座: 圧力側	20A	1	
C1	差圧発信器座: 大気側	20A	1	
P8	マンホール	504 ^{OD} ×t4.5	1	
P7	オーバーフロー管	50A	1	
P6	ドレン	25A	1	
P5	ベント	50A	1	
P4	機関油戻り入口	20A	1	
P3	油戻り出口	50A	1	
P2	油出口	20A	1	2146-F0-103-20
				2146-F0-003-20
P1	油入口	40A	1	2146-F0-102-40
				2146-F0-002-40
符号	名称	呼び径	個数	接続配管
管台一覧表				

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管の状況を示す。

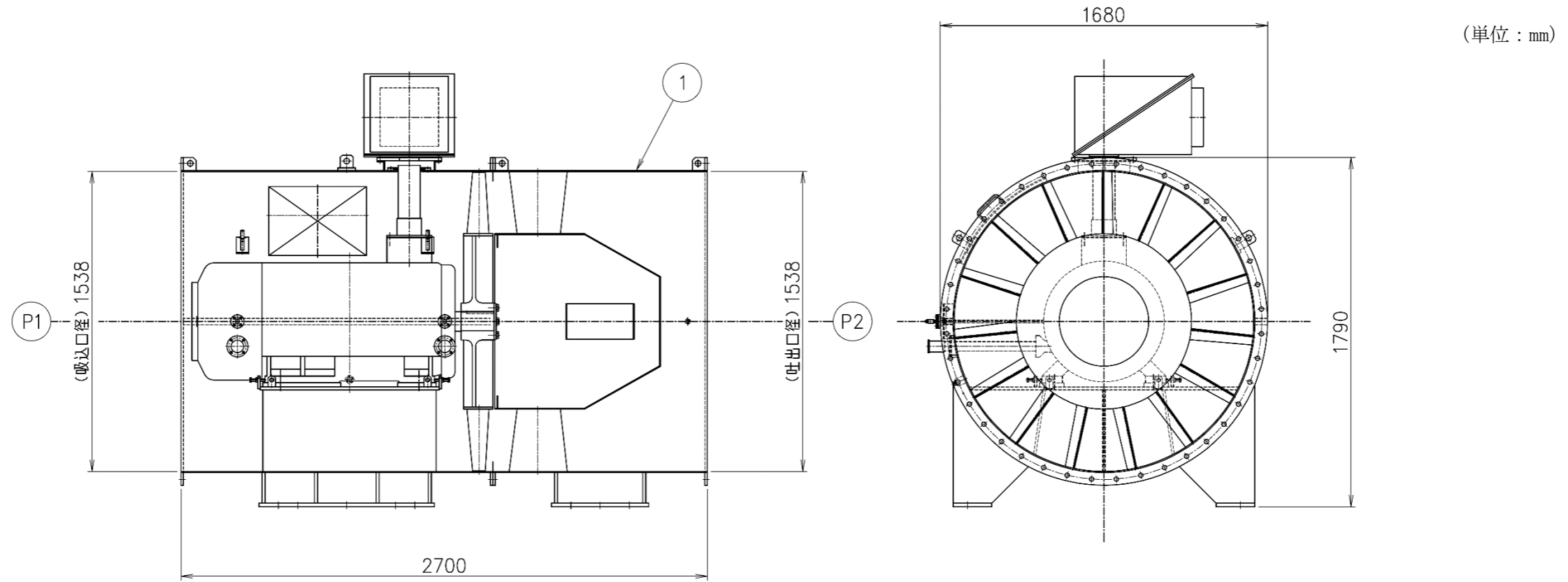
第 2.5.7.3.9.5-8 図

燃料油サービスタンク (2146-V21, V23) の構造図

第2.5.7.3.9.5-8図 燃料油サービスタンク (2146-V21, V23) の構造図 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
胴内径	960	±4.0mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
胴板厚さ	4.5	+0.5mm -1.1mm	JIS G 3193及び製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
平板厚さ	9.0	+0.5mm -1.0mm	同上
屋根板厚さ	4.5	+0.5mm -1.1mm	同上
入口管台外径	48.6	±0.5mm	JIS G 3454による製造公差
入口管台厚さ	5.1	+0.7mm -1.1mm	JIS G 3454及び製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
出口管台外径	27.2	±0.5mm	JIS G 3454による製造公差
出口管台厚さ	3.9	+0.6mm -1.0mm	JIS G 3454及び製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1,140	±6.0mm	JIS B 0405による普通公差 (面取り部分を除く長さ寸法に対する許容差のv)



P2	吐出口	1538	1	発電機給気チャンバー室～第1発電機室送風機(2146-K541), 第2発電機室送風機(2146-K542)
P1	吸込口	1538	1	
符号	名称	呼び径	個数	接続配管
管台一覧表				

図中の管台は、構造上の構成及び接続配管の状況を示す。

1	ケーシング	1	SS400
符号	名称	個数	材料
部品表			

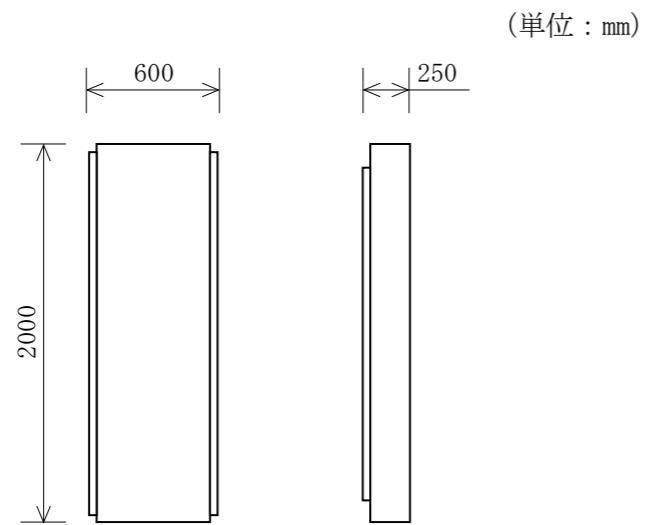
個数は、1個分の数量を示す。

第 2.5.7.3.9.5-9 図
第 1 発電機室送風機, 第 2 発電機室送風機(2146-K541, K542)の構造図

第2.5.7.3.9.5-9図 第1発電機室送風機, 第2発電機室送風機(2146-K541, K542)の構造図
別紙

公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
吸込口径	1538	±11.0mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカ基準
吐出口径	1538	±11.0mm	同上
たて	2700	±16.0mm	同上
横	1680	±11.0mm	同上
高さ	1790	±11.0mm	同上



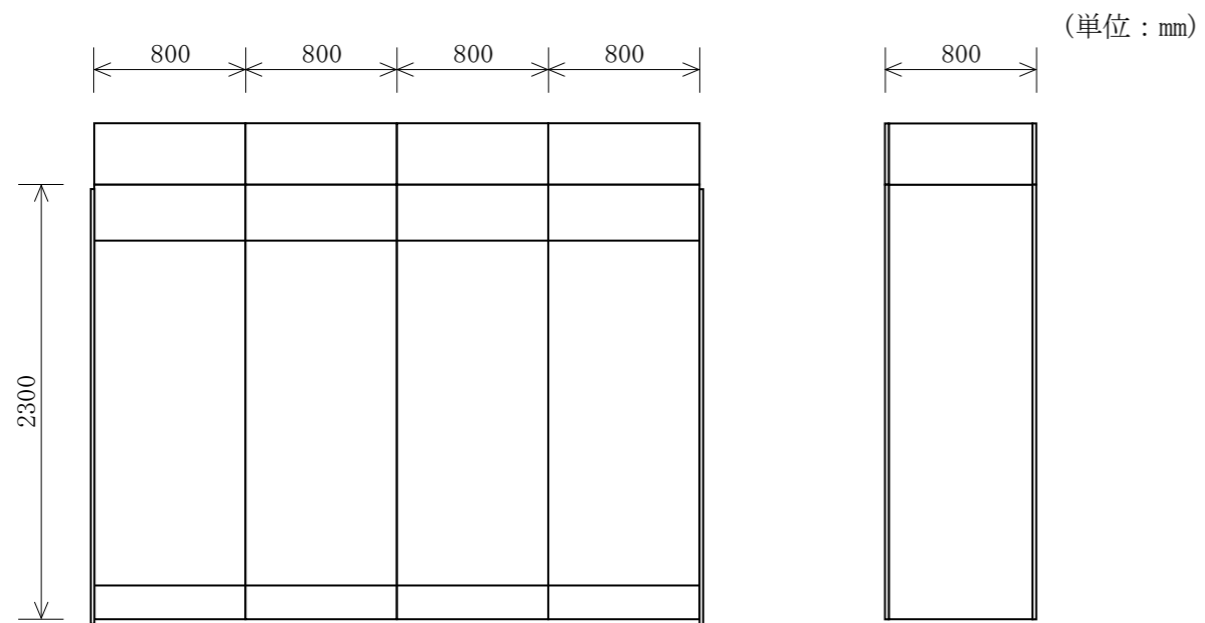
機 器 名 称	台 数	外形寸法 (mm)		
		幅	奥行	高さ
105V 対策本部室分電盤 (AZ-ACD-N13)	1	600	250	2000

第 2. 5. 7. 3. 9. 5-10 図
105V 対策本部室分電盤 (AZ-ACD-N13) の構造図

第2.5.7.3.9.5-10図 105V対策本部室分電盤(AZ-ACD-N13)の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
幅	600	±2mm	JEM-1459による
奥行	250	±3mm	同上
高さ	2000	±3mm	同上



機器名称	台数	外形寸法(mm)		
		幅	奥行	高さ
460V コントロールセンタ A1 (AZ-MCC-A1)	4	800	800	2300
460V コントロールセンタ B1 (AZ-MCC-B1)	4	800	800	2300

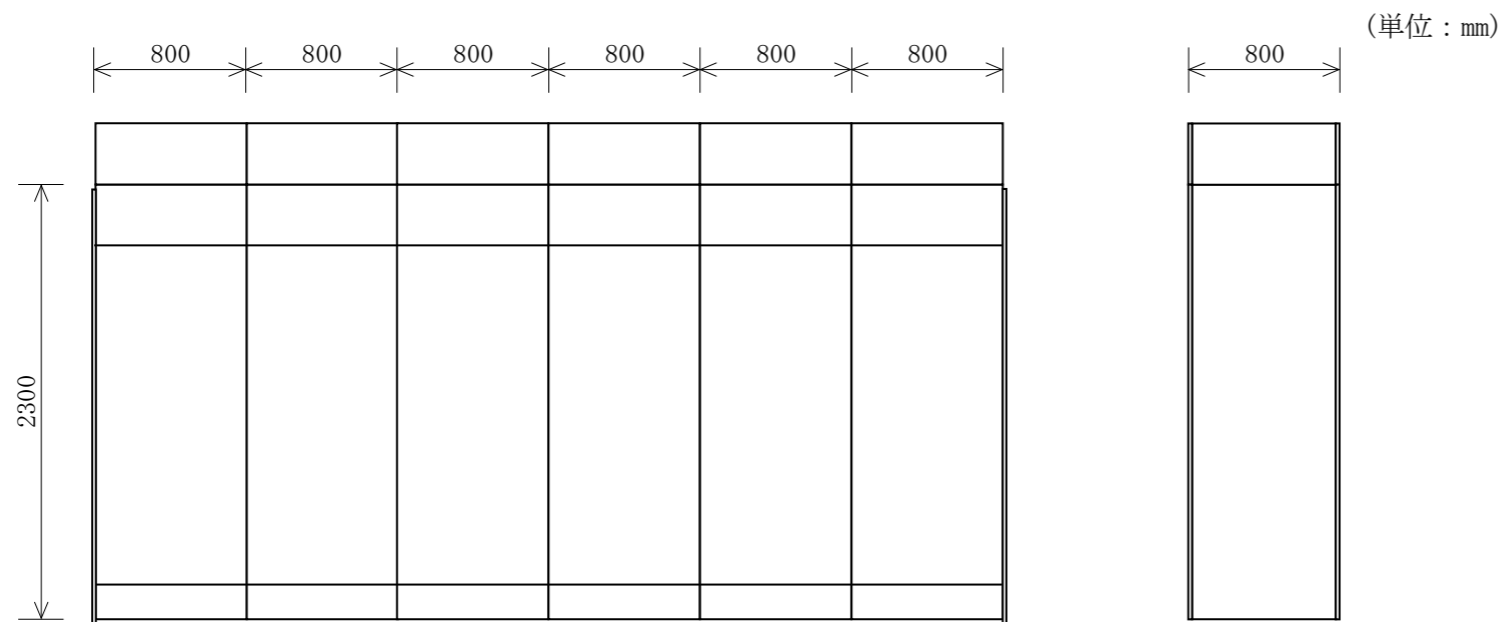
注:ケーブルダクト等の付属品は高さに含まない。

第 2.5.7.3.9.5-11 図
460V コントロールセンタ A1, B1 (AZ-MCC-A1, AZ-MCC-B1) の構造

第2.5.7.3.9.5-11図 460VコントロールセンタA1, B1 (AZ-MCC-A1, AZ-MCC-B1)の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
幅	800	±2mm	JEM-1459による
奥行	800	±4mm	同上
高さ	2300	±4mm	同上



機 器 名 称	台 数	外形寸法 (mm)		
		幅	奥行	高さ
460V コントロールセンタ A2 (AZ-MCC-A2)	6	800	800	2300
460V コントロールセンタ B2 (AZ-MCC-B2)	6	800	800	2300

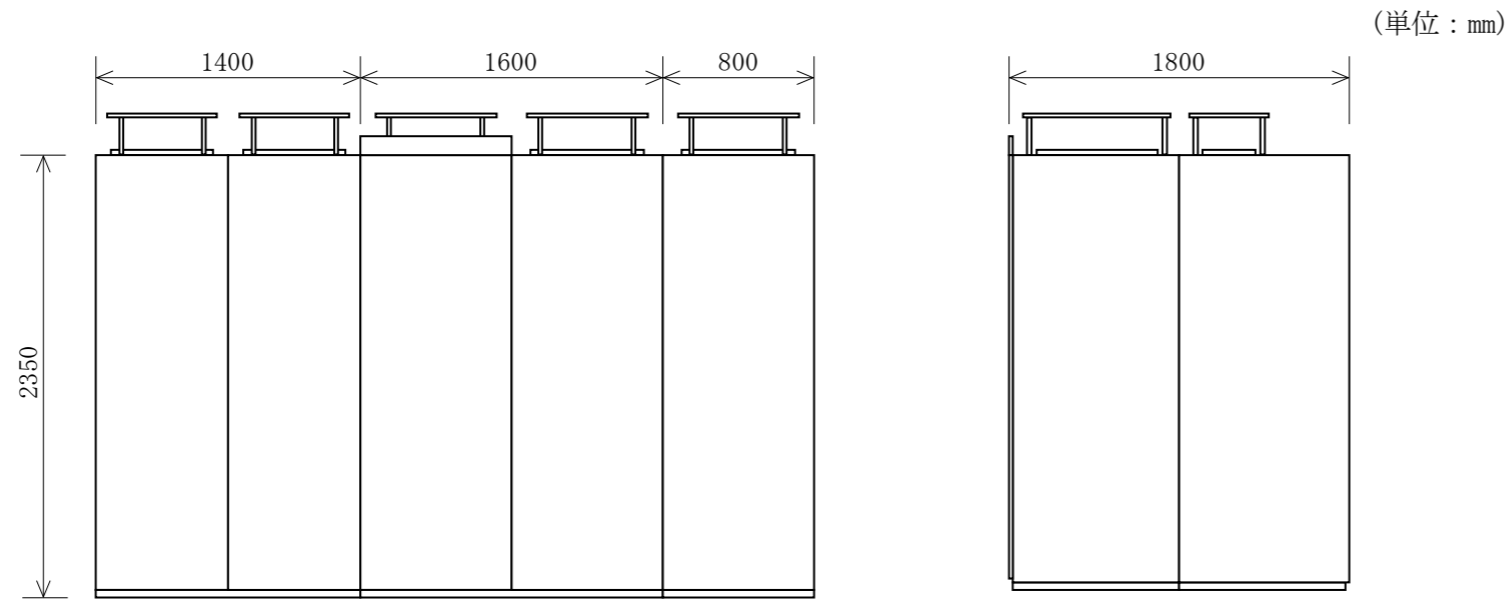
注:ケーブルダクト等の付属品は高さに含まない。

第 2.5.7.3.9.5-12 図
460V コントロールセンタ A2, B2 (AZ-MCC-A2, AZ-MCC-B2) の構造図

第2.5.7.3.9.5-12図 460VコントロールセンタA2, B2(AZ-MCC-A2, AZ-MCC-B2)の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
幅	800	±2mm	JEM-1459による
奥行	800	±4mm	同上
高さ	2300	±4mm	同上



機器名称	台数	外形寸法(mm)		
		幅	奥行	高さ
105V 無停電電源装置 A1 (AZ-UPS-A1)	1	1400	1800	2350
	1	1600	1800	2350
	1	800	1800	2350
105V 無停電電源装置 B1 (AZ-UPS-B1)	1	1400	1800	2350
	1	1600	1800	2350
	1	800	1800	2350

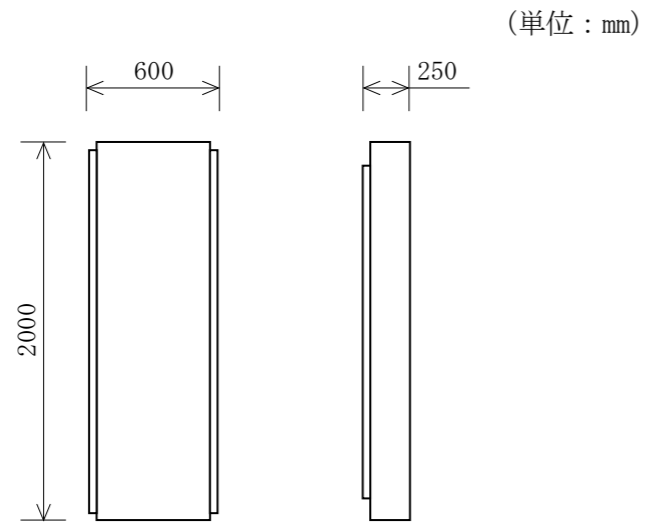
注:ベンチレータ等の付属品は高さに含まない。

第 2.5.7.3.9.5-13 図
105V 無停電電源装置 A1, B1(AZ-UPS-A1, AZ-UPS-B1)の構造図

第2.5.7.3.9.5-13図 105V無停電電源装置A1, B1(AZ-UPS-A1, AZ-UPS-B1)の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
幅	1400	±3mm	JEM-1459による
	1600	±3mm	同上
	800	±2mm	同上
奥行	1800	±6mm	同上
高さ	2350	±4mm	同上



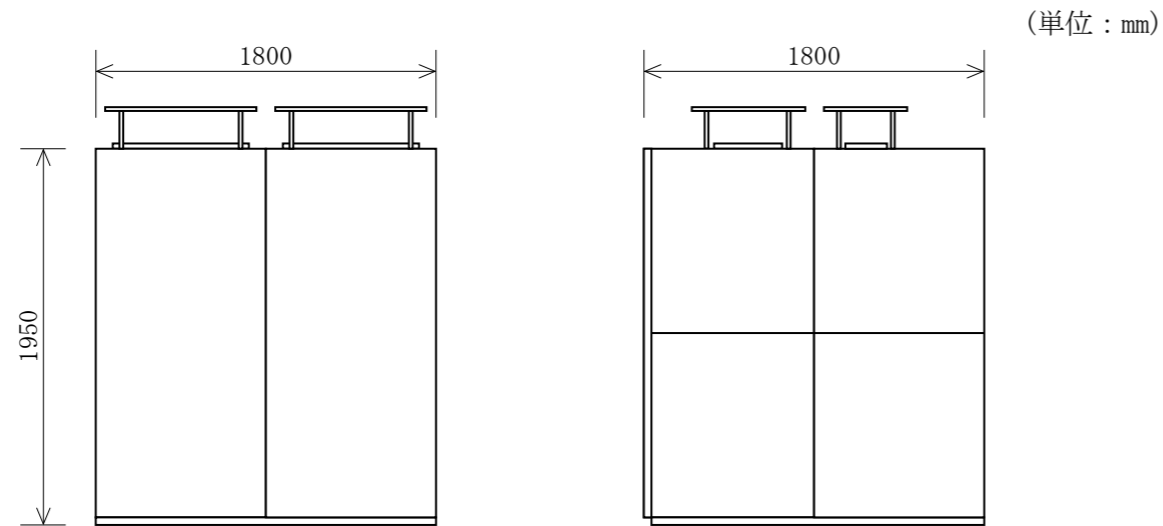
機器名称	台数	外形寸法 (mm)		
		幅	奥行	高さ
105V 無停電分電盤 A12 (AZ-UPD-A12)	1	600	250	2000
105V 無停電分電盤 B12 (AZ-UPD-B12)	1	600	250	2000

第 2. 5. 7. 3. 9. 5-14 図
105V 無停電分電盤 A12, B12 (AZ-UPD-A12, AZ-UPD-B12) の構造

第2.5.7.3.9.5-14図 105V無停電分電盤A12, B12 (AZ-UPD-A12, AZ-UPD-B12)の構造図 別紙

公差表 (公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
幅	600	±2mm	JEM-1459による
奥行	250	±3mm	同上
高さ	2000	±3mm	同上



機器名称	台数	外形寸法(mm)		
		たて	横	高さ
110V 充電器盤 A1 (AZ-CHG-A1)	1	1800	1800	1950
110V 充電器盤 B1 (AZ-CHG-B1)	1	1800	1800	1950

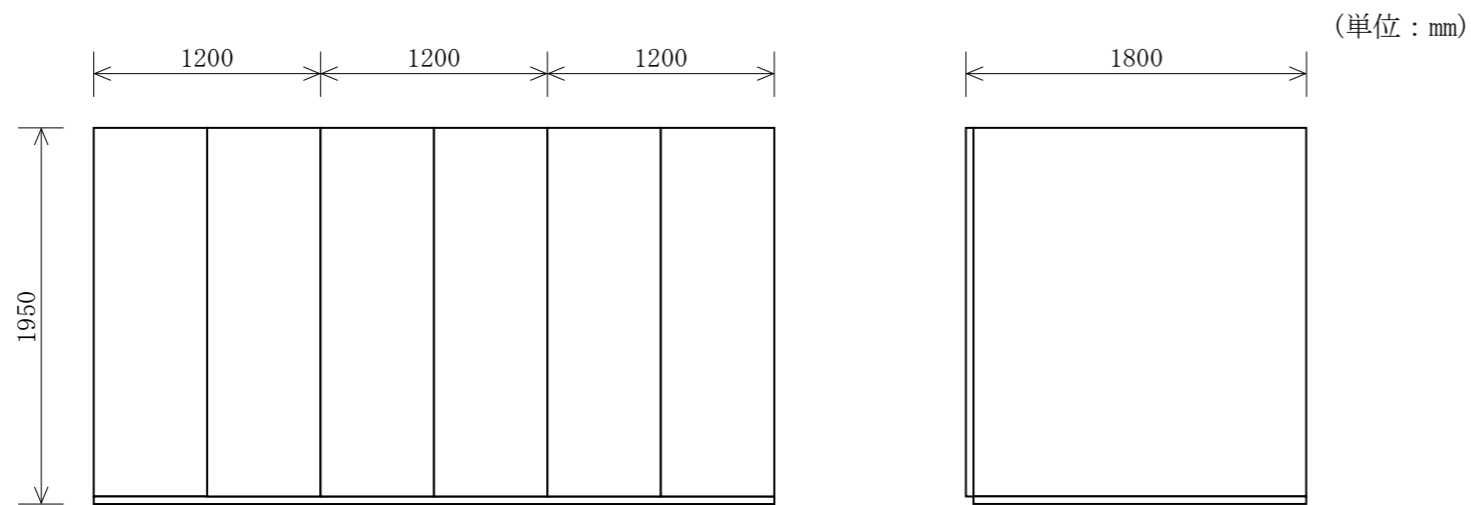
注:ベンチレータ等の付属品は高さに含まない。

第 2.5.7.3.9.5-15 図
110V 充電器盤 A1, B1 (AZ-CHG-A1, AZ-CHG-B1) の構造図

第2.5.7.3.9.5-15図 110V充電器盤A1, B1 (AZ-CHG-A1, AZ-CHG-B1)の構造図 別紙

公差表 (公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	1800	±3mm	JEM-1459による
横	1800	±6mm	同上
高さ	1950	±6mm	同上



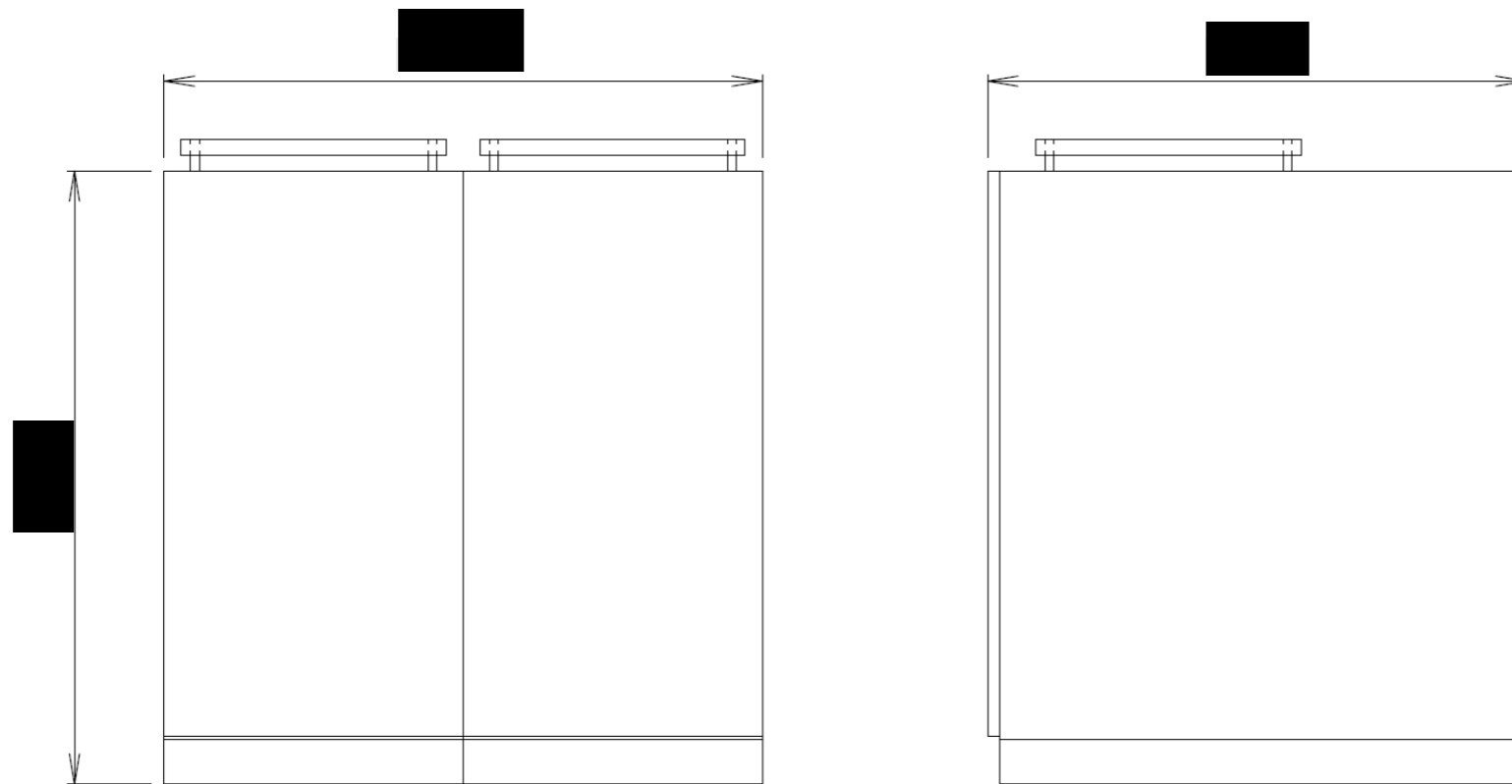
機器名称	台数	外形寸法(mm)		
		たて	横	高さ
110V 蓄電池 A1 (AZ-BAT-A1)	3	1200	1800	1950
110V 蓄電池 B1 (AZ-BAT-B1)	3	1200	1800	1950

第 2.5.7.3.9.5-16 図
110V 蓄電池 A1, B1 (AZ-BAT-A1, AZ-BAT-B1) の構造図

第2.5.7.3.9.5-16図 110V蓄電池A1, B1(AZ-BAT-A1, AZ-BAT-B1)の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	1200	±3mm	JEM-1459による
横	1800	±6mm	同上
高さ	1950	±6mm	同上



(単位: mm)

機器名称	台数	外形寸法 (mm)		
		たて	横	高さ
DGA始動用充電器盤 (AZ-CHG-DGA)	1	■	■	■
DGB始動用充電器盤 (AZ-CHG-DGB)	1	■	■	■

注: ベンチレータ等の附属品は高さに含まない。

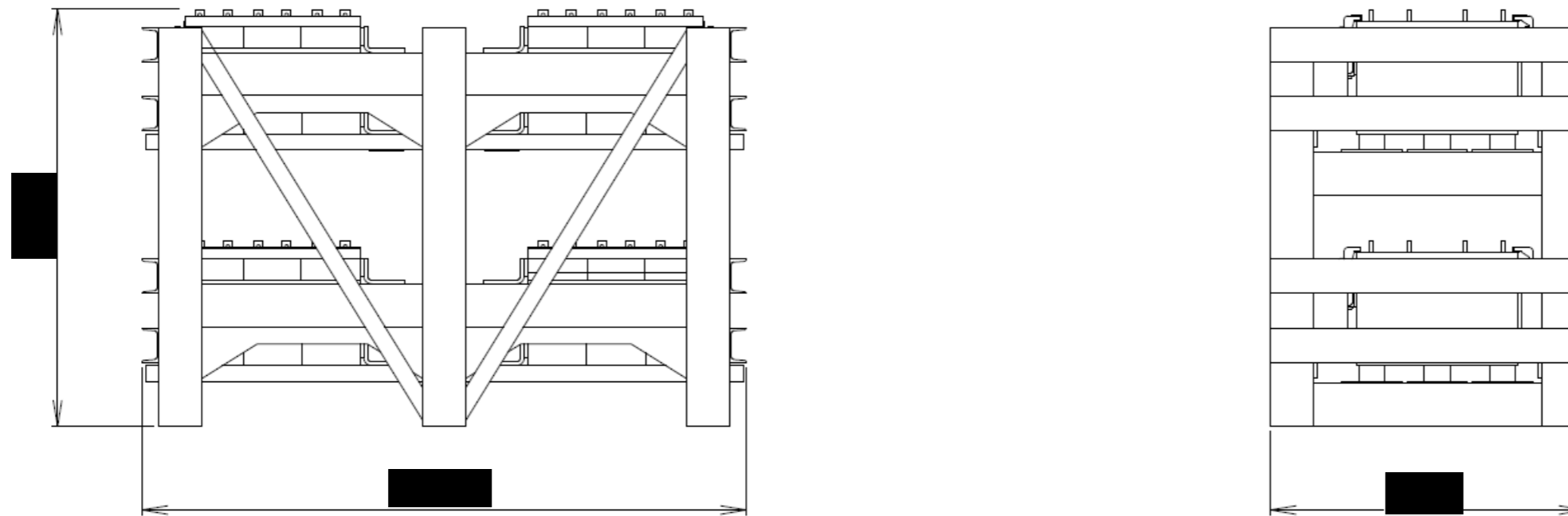
第 2.5.7.3.9.5-17 図
DG 始動用充電器盤 (AZ-CHG-DGA, AZ-CHG-DGB) の構造図

第2.5.7.3.9.5-17図 DG始動用充電器盤(AZ-CHG-DGA, AZ-CHG-DGB)の構造図 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	■	■	■
横	■	■	■
高さ	■	■	■

(単位：mm)



機器名称	台数	外形寸法 (mm)		
		たて	横	高さ
DGA始動用蓄電池 (AZ-BAT-DGA)	1	■	■	■
DGB始動用蓄電池 (AZ-BAT-DGB)	1	■	■	■

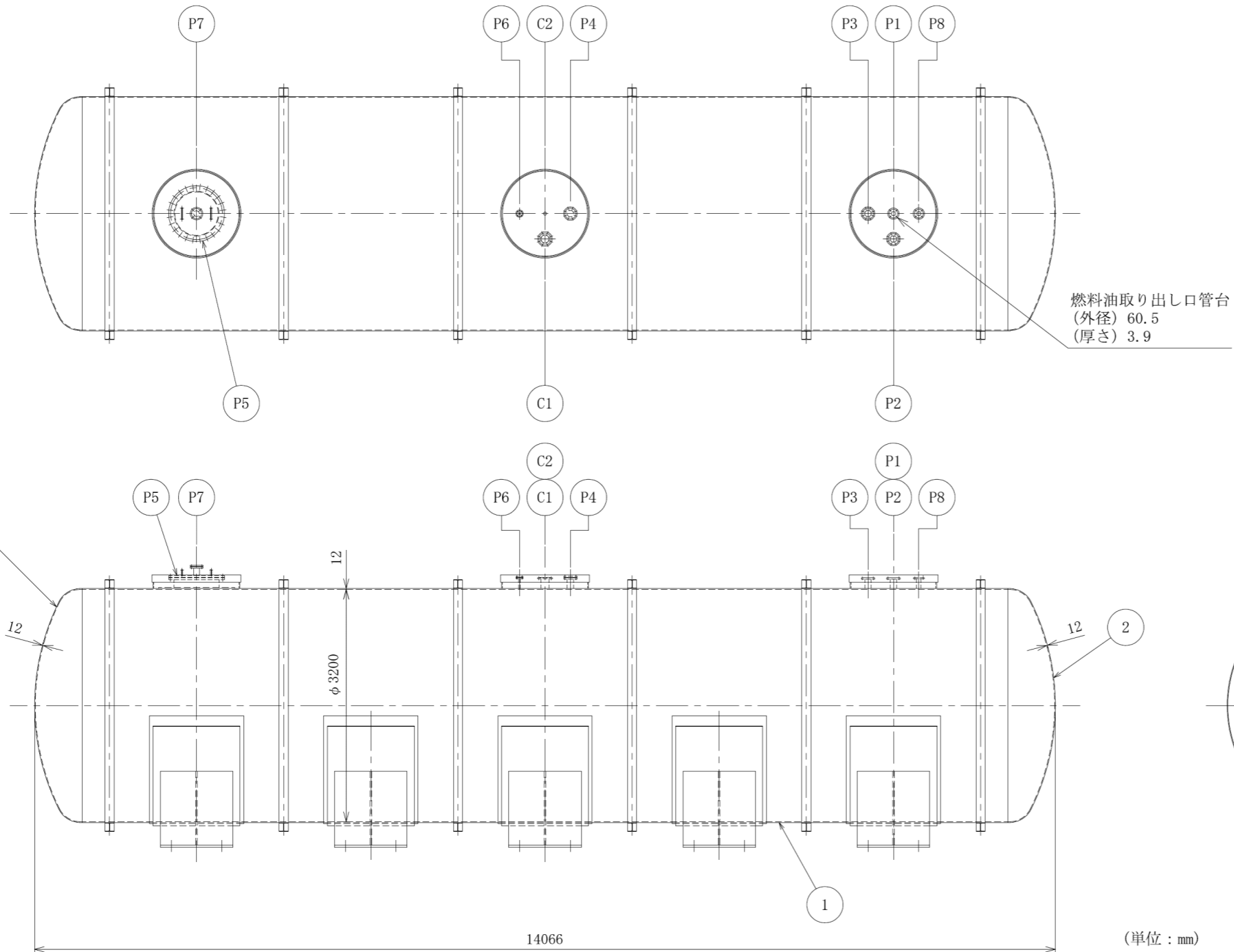
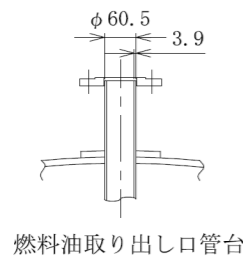
注：DGA, DGB 始動用蓄電池のセル数 12, 容量 ■■■■■ である。

第 2.5.7.3.9.5-18 図
DG 始動用蓄電池 (AZ-BAT-DGA, AZ-BAT-DGB) の構造図

第2.5.7.3.9.5-18図 DG始動用蓄電池(AZ-BAT-DGA, AZ-BAT-DGB)の構造図 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	■	■	■
横	■	■	■
高さ	■	■	■



符号	名称	呼び径	個数	接続配管
C2	検量口	32A	1	
C1	油面計口	100A	1	
P8	返油口	50A	1	
P7	点検口	65A	1	
P6	水抜き口	20A	1	
P5	マンホール	φ600	1	
P4	予備口	80A	1	
P3	重油入口	80A	1	
P2	ベント	80A	1	
P1	燃料油取り出し口	50A	1	9917-F0-002-50 9917-F0-004-50

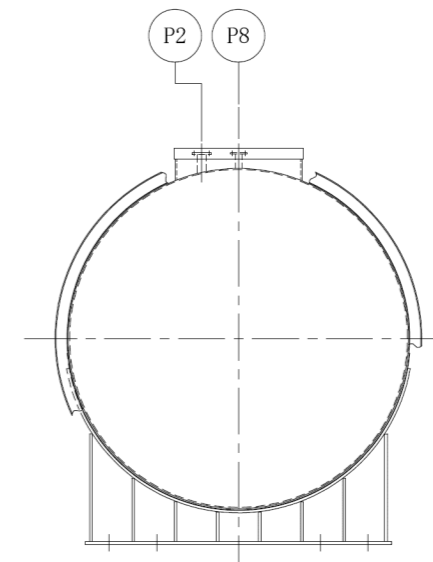
管台一覧表

図中の管台は構造上の構成及び接続配管等の配置の状況を示す。

番号	名称	個数	材料
2	鏡板	2	SS400
1	胴板	1	SS400

部品表

個数は、1個あたりの個数を示す。



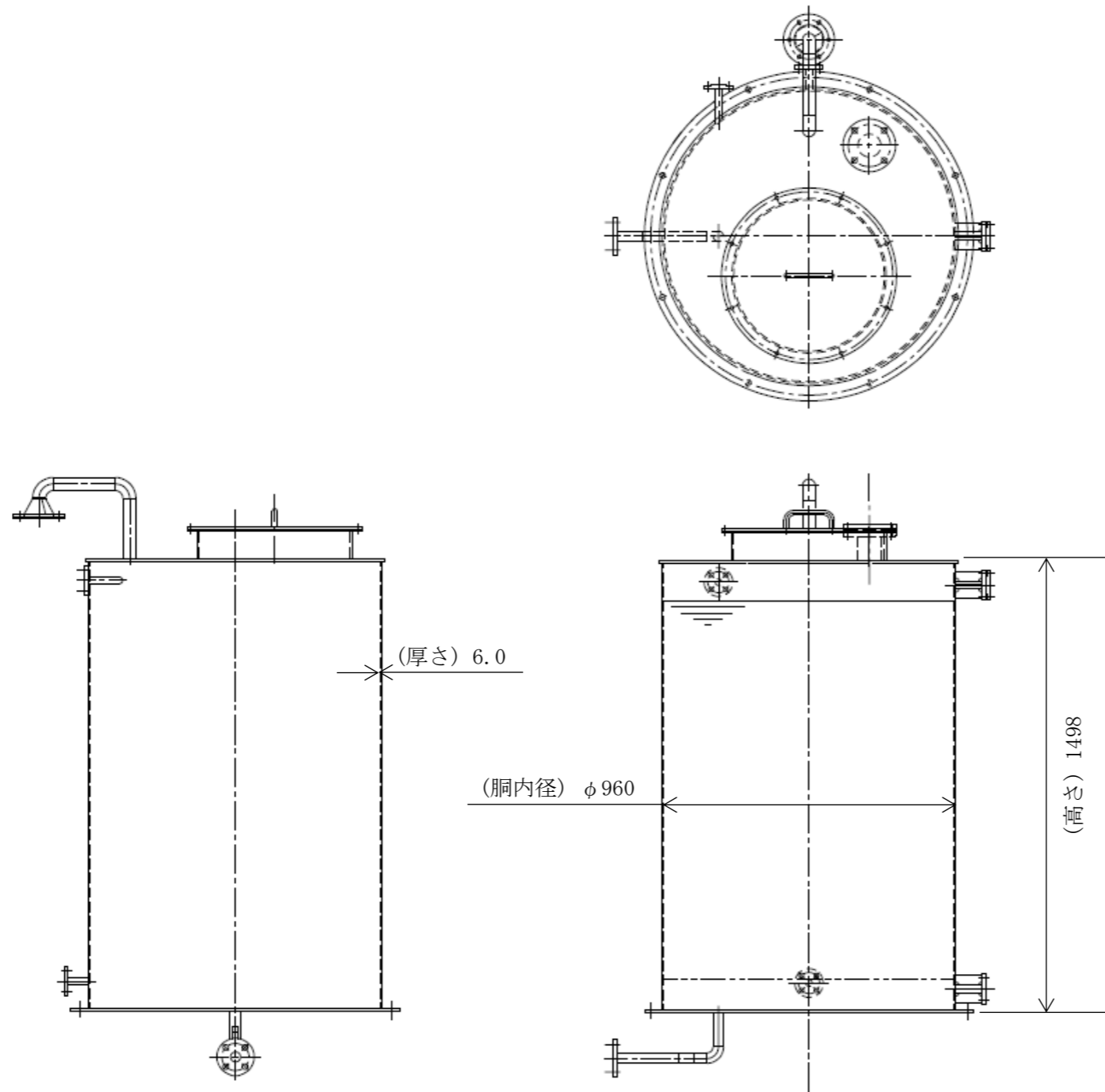
(単位: mm)

第 2.5.7.3.9.5-19 図
重油貯槽(9917-V11, V12)の構造図

第 2.5.7.3.9.5-19 図 重油貯槽(9917-V11, V12)の構造図 別紙

公差表(公称値の許容範囲)

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
全長	14066	±27mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
胴内径	3200	±27mm	同上
胴板厚さ	12	±0.8mm	JIS G 3193 による製造公差
鏡板厚さ	12	+規定しない -2mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
燃料油取り出し口 管台外径	60.5	±0.8%	JIS G 3454 による製造公差
燃料油取り出し口 管台厚さ	3.9	±10%	同上



注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

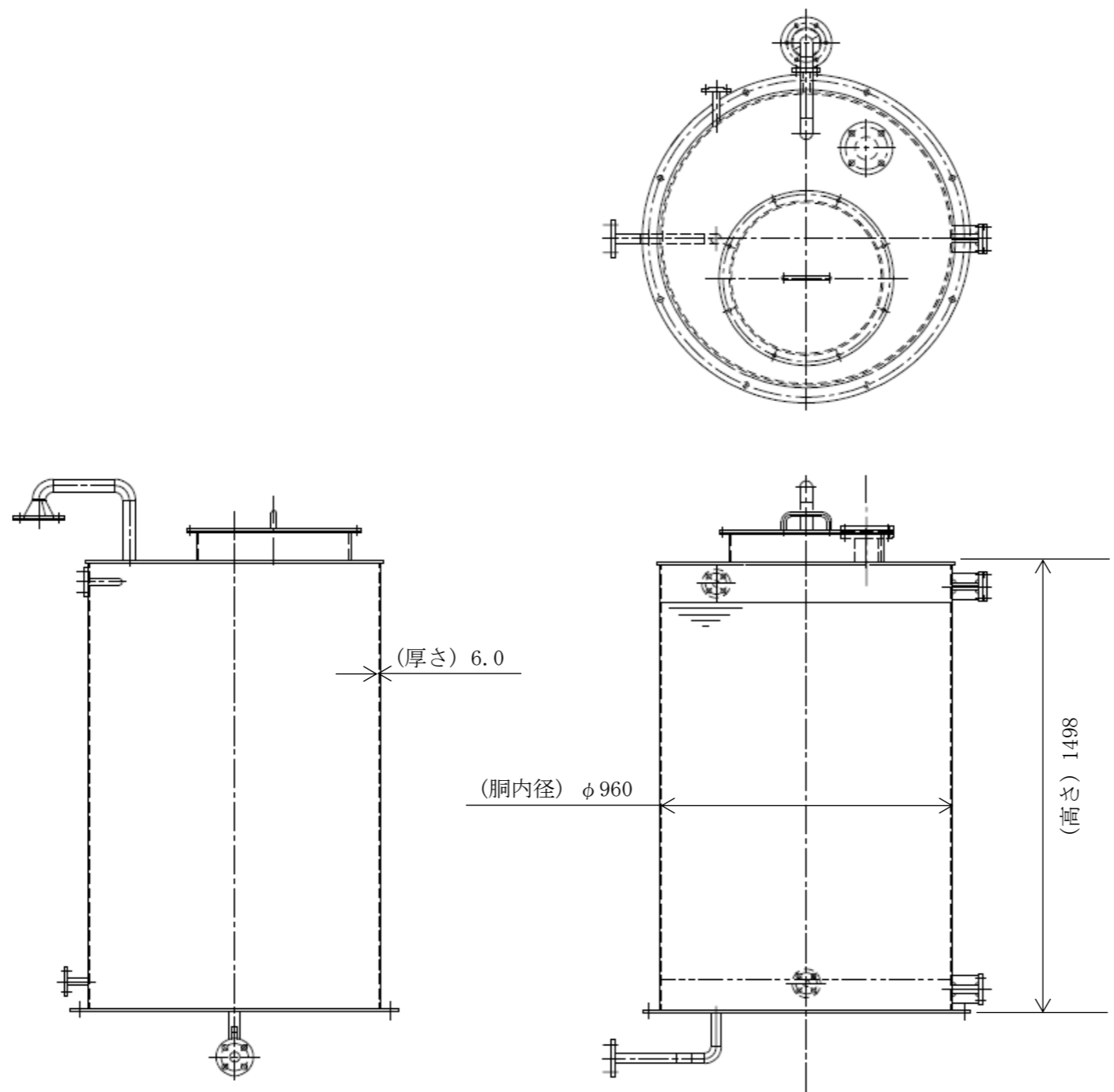
燃料油貯槽A
燃料油貯槽B
機器名称一覧表

第 2.5.8-1 図
 地下水排水設備（ハル・エンドピース貯蔵建屋周り）燃料油貯槽の構造図

第 2.5.8-1 図 地下水排水設備（ハル・エンドピース貯蔵建屋周り）燃料油貯槽の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
胴内径	960	±5 mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1498	±6 mm	同上
厚さ	6.0	+0.7 mm -1.2mm	同上



注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

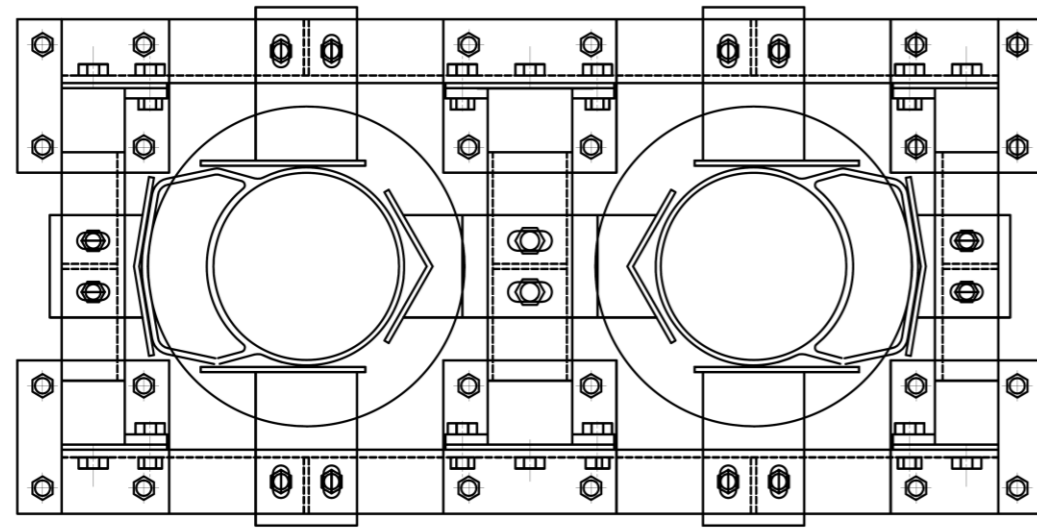
燃料油貯槽C (9914-V11)
燃料油貯槽D (9914-V12)
機器名称一覧表

第2.5.8-2図
 地下水排水設備（第2保管庫・貯水所周り）燃料油貯槽の
 構造図

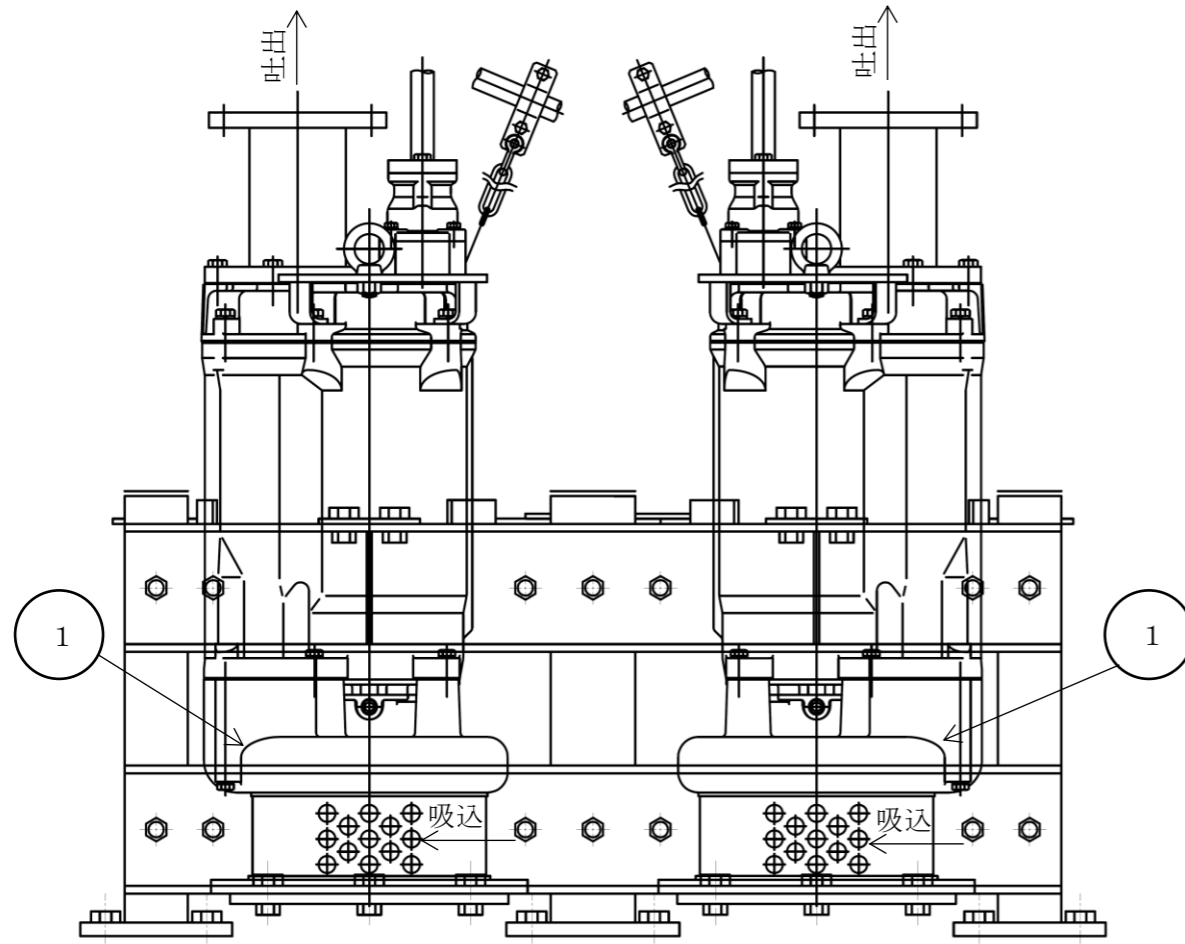
第2.5.8-2図 地下水排水設備（第2保管庫・貯水所周り）燃料油貯槽の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

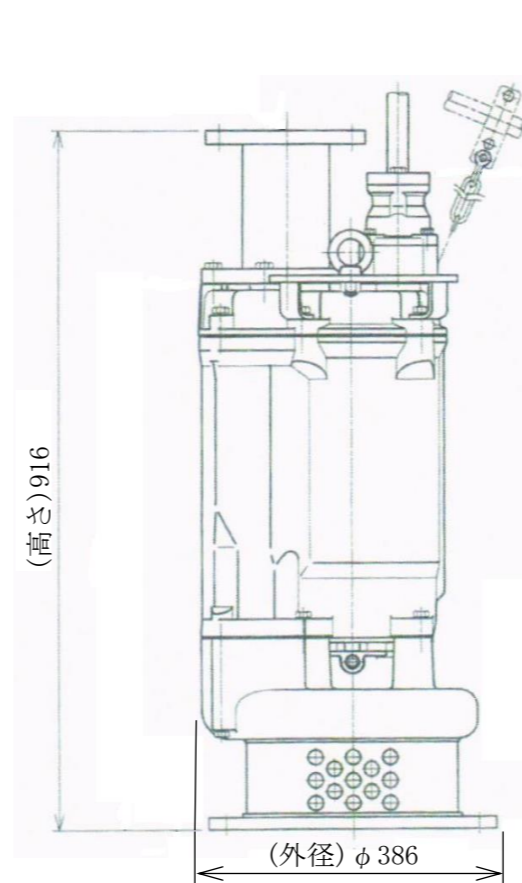
主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
胴内径	960	±5 mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1498	±6 mm	同上
厚さ	6.0	+0.7 mm -1.2mm	同上



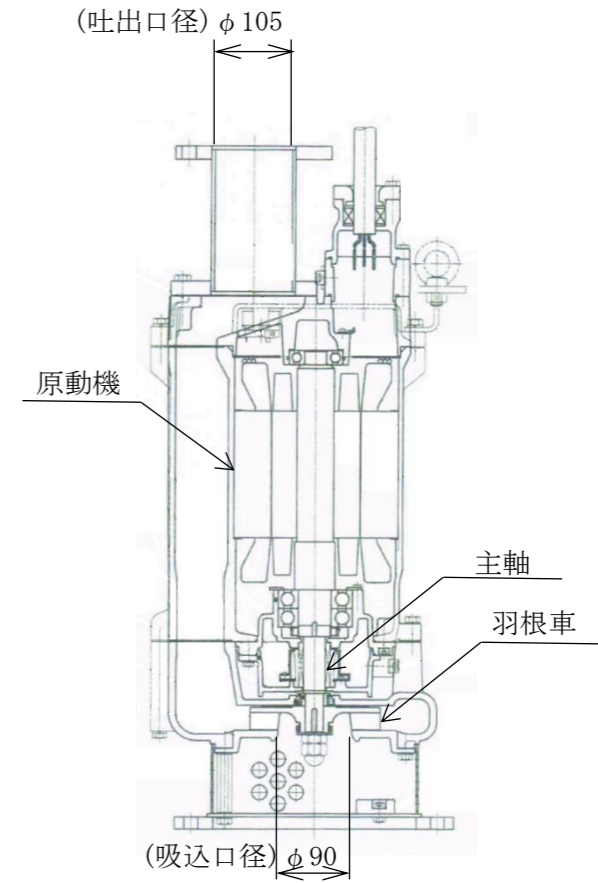
上面図



正面図



正面図



断面図

地下水排水ポンプ A
地下水排水ポンプ B
機器名称一覧表

1	ケーシング	2	FC200
番号	名称	個数	材料
部品表			

注1：寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

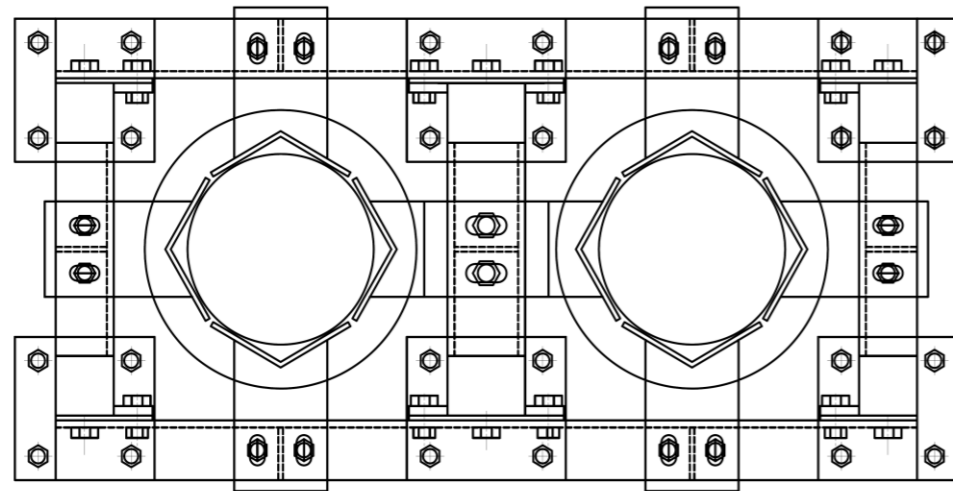
第2.5.8-3図

地下水排水設備 地下水排水ポンプ (15kW) の構造図

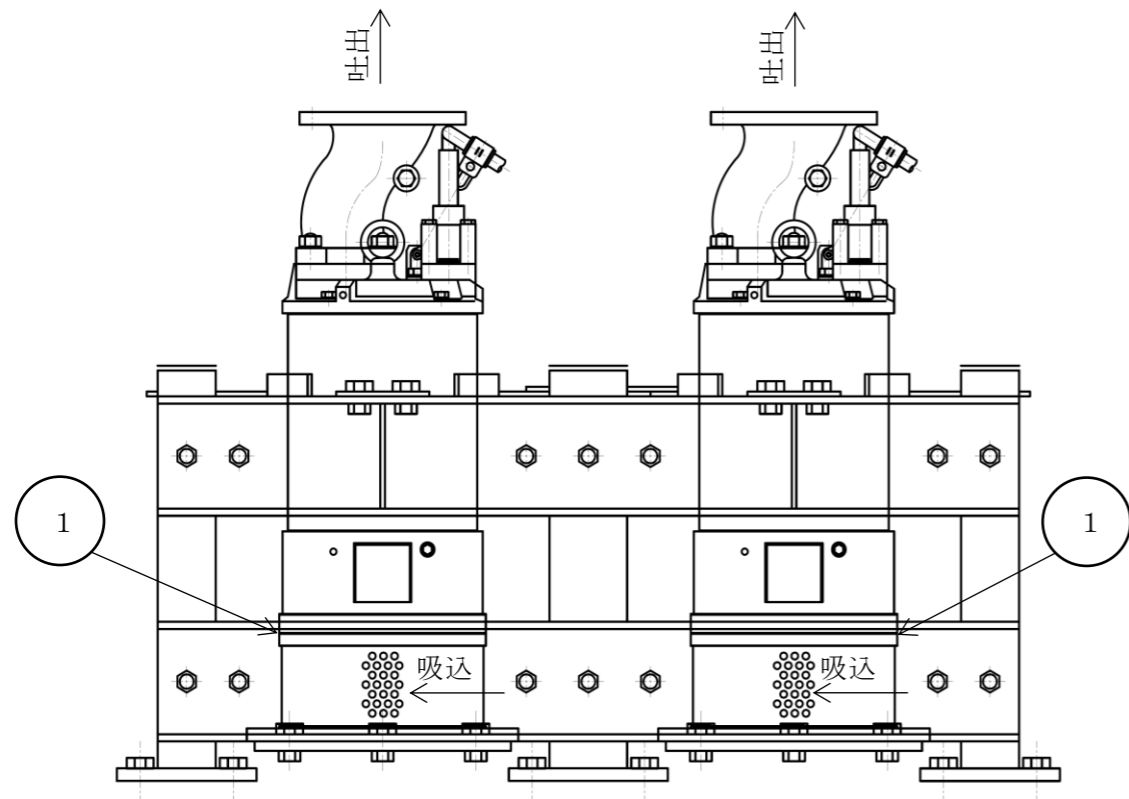
第2.5.8-3図 地下水排水設備 地下水排水ポンプ（15kW）の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

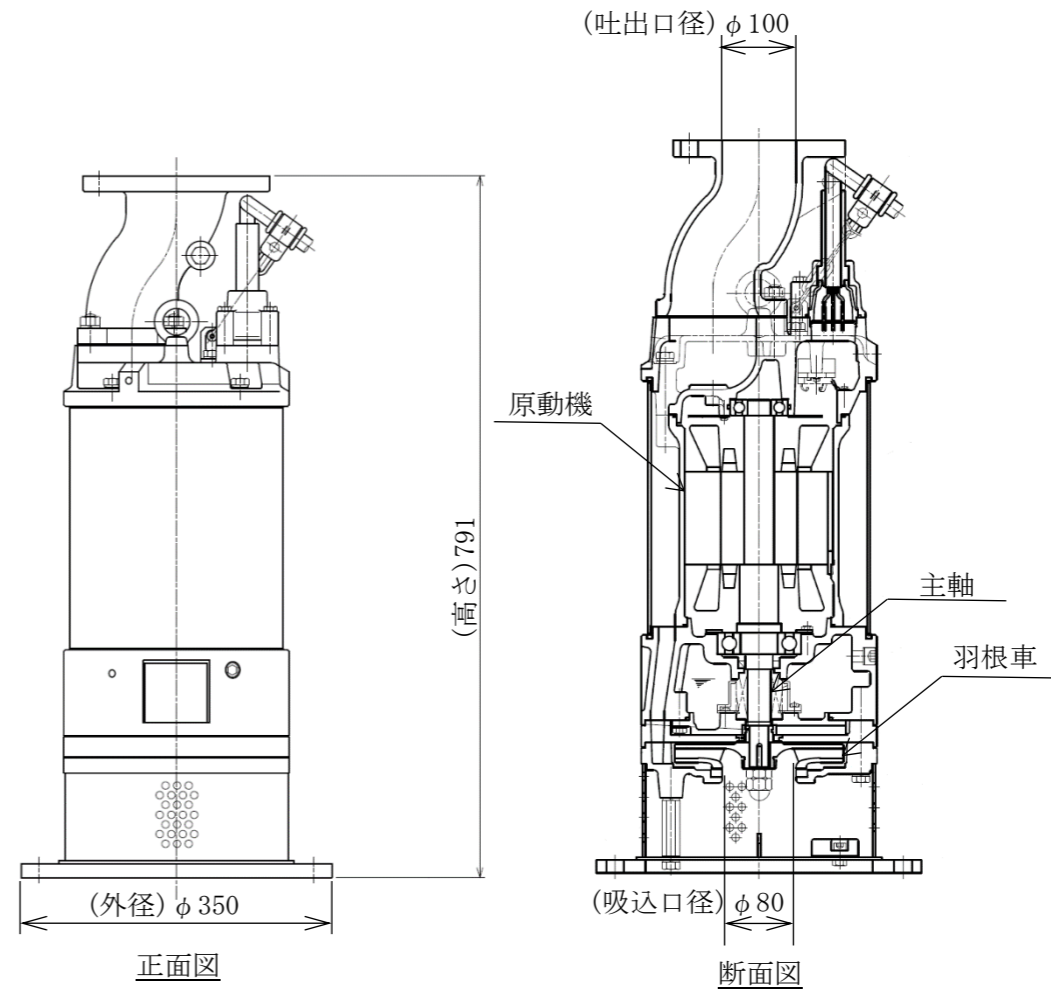
主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
吸込口径	90	±2.5mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
吐出口径	105	±3mm	同上
外径	385	±5mm	同上
高さ	916	±10mm	同上



上面図



正面図



正面図

断面図

地下水排水ポンプ A	
[Redacted]	
地下水排水ポンプ B	
[Redacted]	
機器名称一覧表	

1	ケーシング	2	FCD450
番号	名称	個数	材料
部品表			

注1：寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

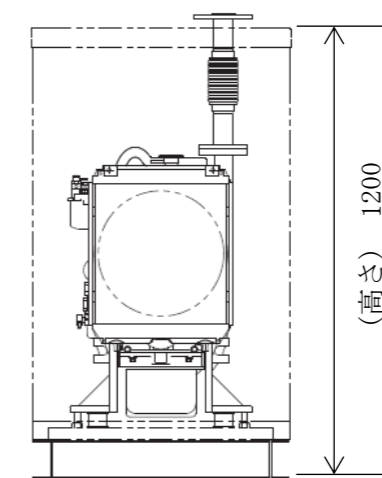
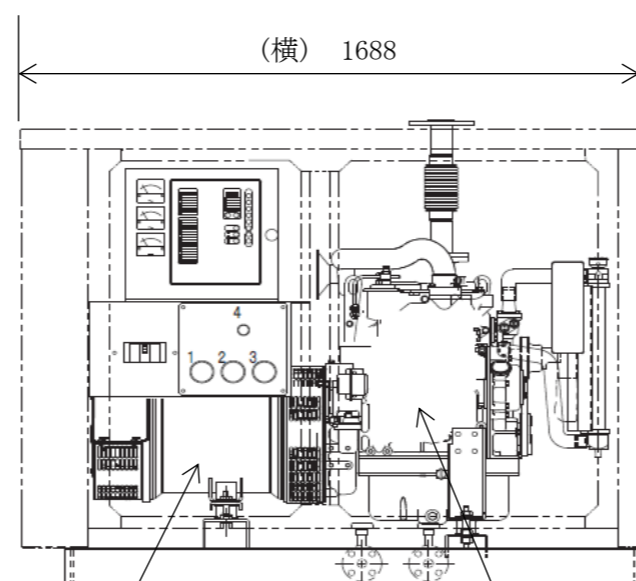
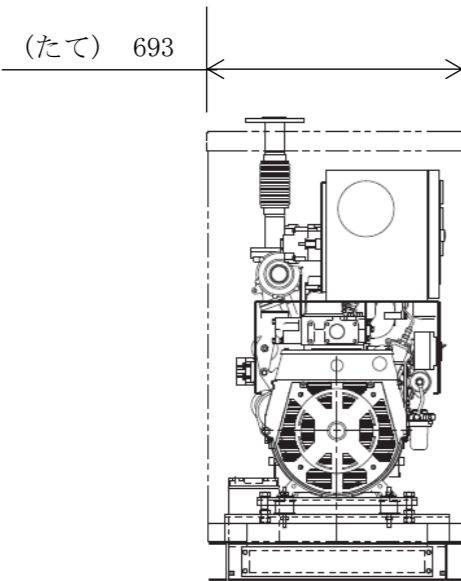
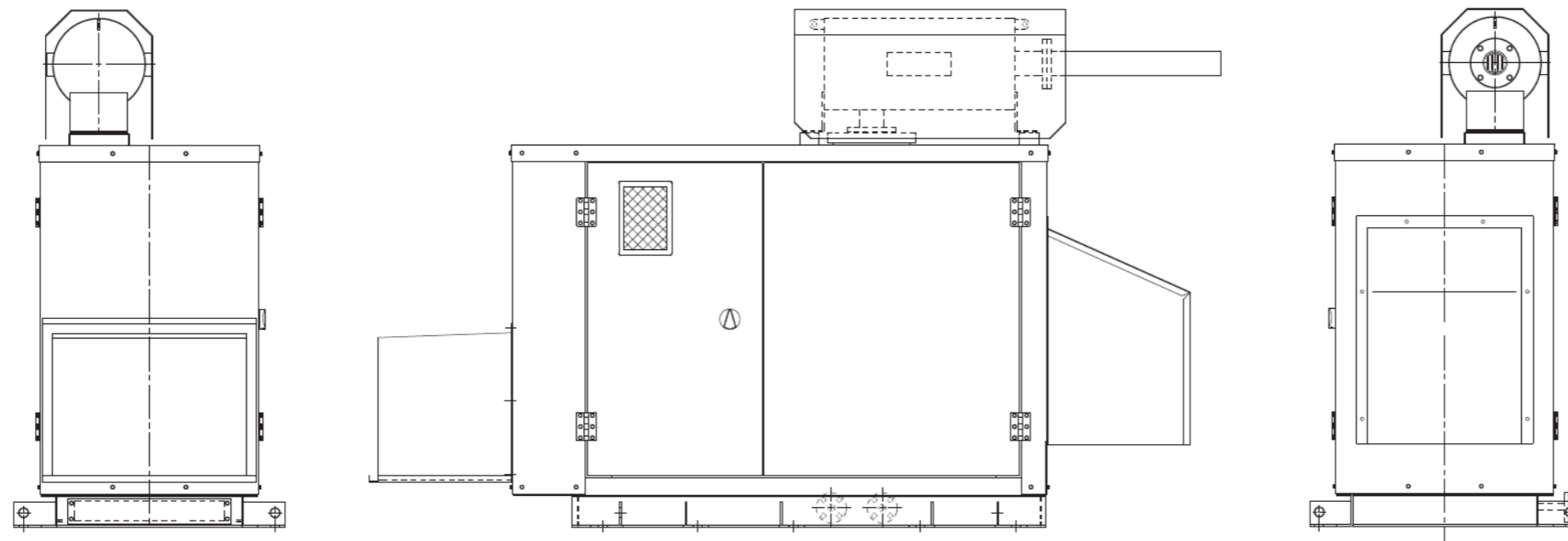
第2.5.8-4図

地下水排水設備 地下水排水ポンプ (5.5kW) の構造図

第2.5.8-4図 地下水排水設備 地下水排水ポンプ（5.5kW）の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
吸込口径	80	±2.5mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準
吐出口径	100	±2.5mm	同上
外径	350	±5mm	同上
高 さ	791	±8mm	同上



地下水排水設備発電機A
地下水排水設備発電機B
機器名称一覧表

上段に外観図、下段に内部詳細図を示す

注1：寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

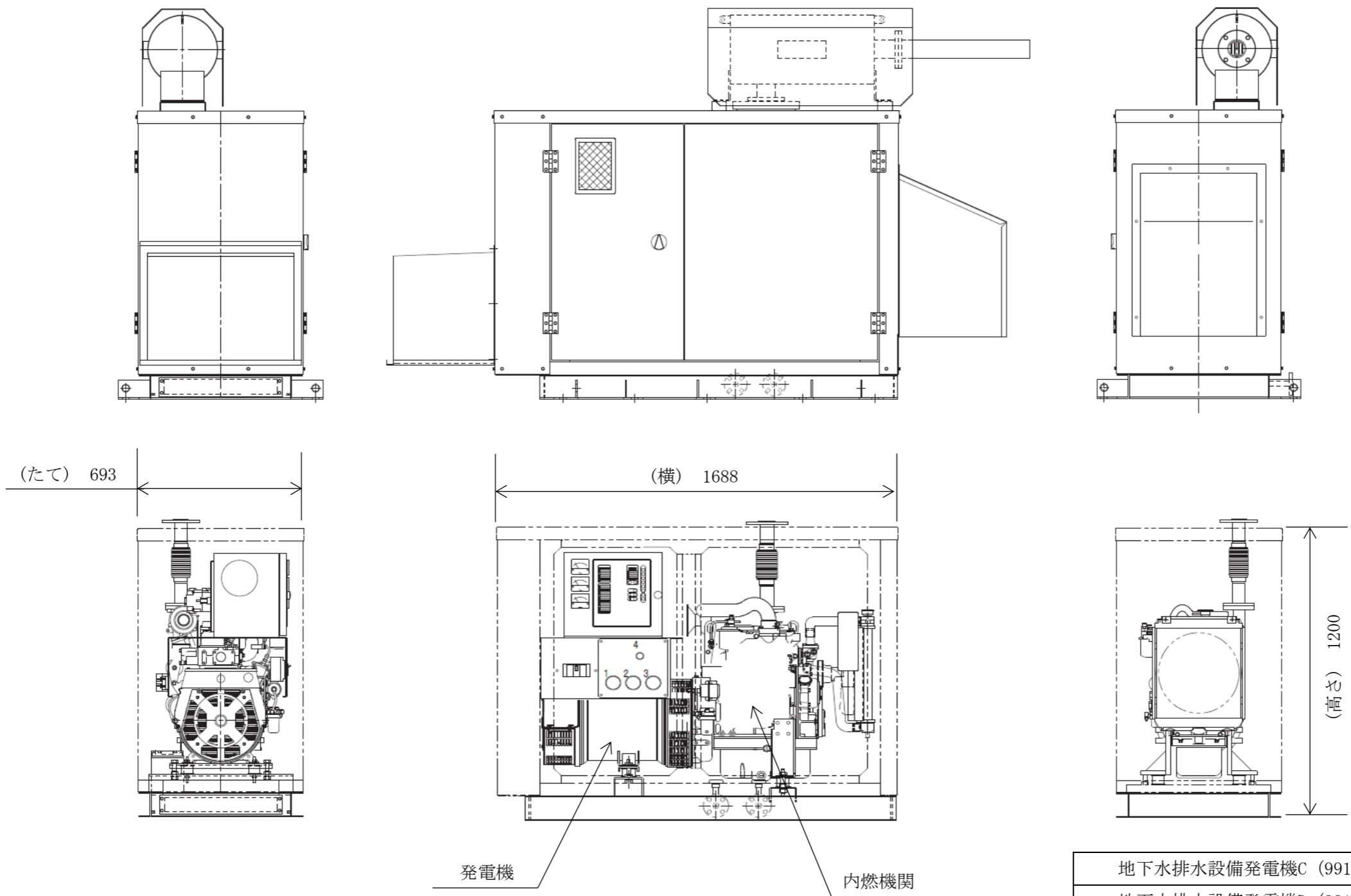
第2.5.8-5 図

地下水排水設備（ハル・エンドピース貯蔵建屋周り）発電機の構造図

第 2.5.8-5 図 地下水排水設備（ハル・エンドピース貯蔵建屋周り）発電機の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	693	±4 mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカ 基準
横	1688	±6 mm	同上
高さ	1200	±6 mm	同上



(たて) 693

(横) 1688

(高さ) 1200

発電機

内燃機関

地下水排水設備発電機C (9914-X11)
地下水排水設備発電機D (9914-X12)
機器名称一覧表

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

上段に外観図、下段に内部詳細図を示す

第 2.5.8-6 図
地下水排水設備（第 2 保管庫・貯水所周り）発電機の構造図

第 2.5.8-6 図 地下水排水設備（第 2 保管庫・貯水所周り）発電機の構造図 別紙

公差表（公称値の許容範囲）

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
たて	693	±4 mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1688	±6 mm	同上
高さ	1200	±6 mm	同上